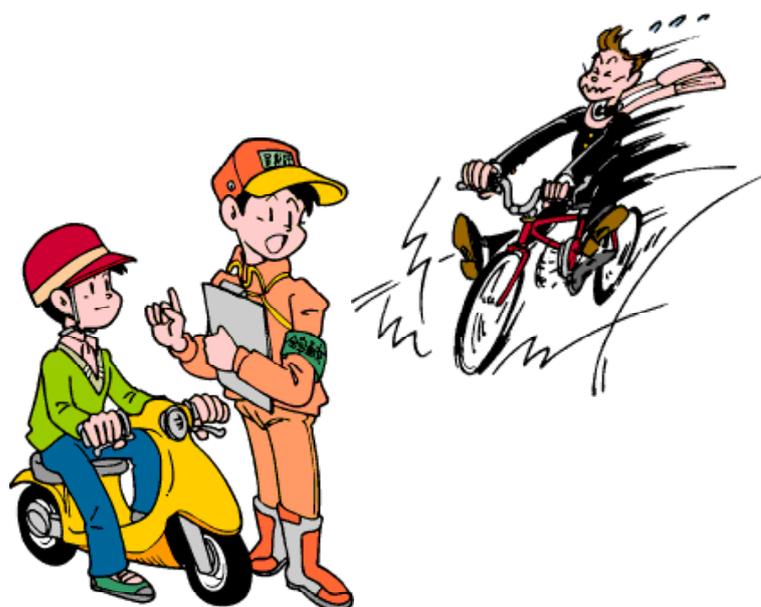


平成25年度 交通安全教育事例集



平成26年3月

大分県高等学校交通安全教育推進連絡会議

大分県教育委員会

事例集の使い方

本事例集は、以下のように取組の内容によって分類してあります。

- I 交通安全教室 =原動機付自転車編=
- II 交通安全教室 =自転車・歩行者編=
- III 交通安全講話
- IV 生徒会活動
- V 全校での取組
- VI 各学年での取組
- VII 地域等と連携した取組
- VIII その他の取組

必要な分をダウンロードし、プリントアウトしてご使用ください。
なお、全編をダウンロードしプリントアウトすると、「平成25年度交通安全教育事例集」になります。

貴校での交通安全教育の一層の充実のために、他校の取組を参考に
していただければと思います。

も く じ

I 交通安全教室 〔原動機付自転車編〕

1	大分県立杵築高等学校	1
2	大分県立国東高等学校双国校	2
3	大分県立日出暘谷・日出総合高等学校	3
4	大分県立由布高等学校	4
5	大分県立臼杵高等学校	5
6	大分県立津久見高等学校	6
7	大分県立三重総合高等学校久住校	7
8	大分県立竹田高等学校	8
9	大分県立玖珠農業高等学校	9
1 0	大分県立日田高等学校	1 0
1 1	大分県立日田林工高等学校	1 1
1 2	大分県立宇佐高等学校	1 2
1 3	大分県立宇佐産業科学高等学校	1 3
1 4	大分県立安心院高等学校	1 4
1 5	藤蔭高等学校	1 5
1 6	稲葉学園竹田南高等学校	1 6

II 交通安全教室 〔自転車・歩行者編〕

1	大分県立高田高等学校	1 7
2	大分県立別府羽室台高等学校	1 8
3	大分県立大分上野丘高等学校	1 9
4	大分県立大分舞鶴高等学校	2 0
5	大分県立鶴崎工業高等学校	2 1
6	大分県立情報科学高等学校	2 3
7	大分県立津久見高等学校海洋科学校	2 4
8	大分県立中津北高等学校	2 5

9	大分県立宇佐産業科学高等学校	2 6
1 0	別府溝部学園高等学校	2 7
1 1	東九州龍谷高等学校	2 8
1 2	大分国際情報高等学校	2 9
1 3	藤蔭高等学校	3 0
1 4	大分県立宇佐支援学校	3 1
1 5	大分県立中津支援学校	3 2
1 6	大分県立由布支援学校	3 3
1 7	大分県立新生支援学校	3 4
1 8	大分県立大分支援学校	3 5
1 9	大分県立臼杵支援学校	3 6
2 0	大分県立佐伯支援学校	3 7
2 1	大分県立日田支援学校	3 8

Ⅲ 交通安全講話

1	大分県立杵築高等学校	3 9
2	大分県立別府鶴見丘高等学校	4 0
3	大分県立別府青山高等学校	4 1
4	大分県立大分舞鶴高等学校	4 2
5	大分県立大分西高等学校	4 3
6	大分県立由布高等学校	4 4
7	大分県立森高等学校	4 5
8	大分県立日田高等学校	4 6
9	大分県立日田高等学校定時制	4 7
1 0	大分県立日田林工高等学校	4 8
1 1	大分県立中津東高等学校定時制	4 9
1 2	大分県立宇佐産業科学高等学校	5 0
1 3	明豊高等学校	5 1
1 4	別府溝部学園高等学校	5 2
1 5	楊志館高等学校	5 3

1 6	藤蔭高等学校	5 4
-----	--------	-----

IV 生徒会活動

1	大分県立高田高等学校	5 5
2	大分県立杵築高等学校	5 6
3	大分県立山香農業高等学校	5 7
4	大分県立別府青山高等学校	5 8
5	大分県立大分商業高等学校	5 9
6	大分県立芸術緑丘高等学校	6 0
7	大分県立大分鶴崎高等学校	6 1
8	大分県立情報科学高等学校	6 2
9	大分県立大分東高等学校	6 3
1 0	大分県立野津高等学校	6 4
1 1	大分県立佐伯鶴城高等学校	6 5
1 2	大分県立佐伯豊南高等学校	6 6
1 3	大分県立佐伯鶴岡高等学校	6 7
1 4	大分県立日田高等学校	6 8
1 5	大分県立日田三隈高等学校	6 9
1 6	大分県立中津南高等学校	7 0
1 7	大分県立中津南高等学校耶馬溪校	7 1
1 8	大分県立中津北高等学校	7 2
1 9	大分県立中津東高等学校	7 3
2 0	大分県立中津東高等学校定時制	7 5
2 1	大分県立宇佐高等学校	7 7
2 2	大分県立宇佐産業科学高等学校	7 8
2 3	日本文理大学附属高等学校	7 9
2 4	明豊高等学校	8 0
2 5	大分東明高等学校	8 1
2 6	楊志館高等学校	8 2
2 7	大分国際情報高等学校	8 3

28	昭和学園高等学校	86
29	柳ヶ浦高等学校	87

V 全校での取組

1	大分県立高田高等学校	90
2	大分県立大分舞鶴高等学校	91
3	大分県立大分工業高等学校定時制	92
4	大分県立爽風館高等学校	94
5	岩田高等学校	95
6	大分高等学校	96
7	稲葉学園竹田南高等学校	98

VI 各学年での取組

1	大分県立杵築高等学校	99
2	大分県立由布高等学校	100
3	大分高等学校	101
4	大分国際情報高等学校	102
5	大分県立盲学校	103

VII 地域等と連携した取組

1	大分県立大分雄城台高等学校	104
2	大分県立大分工業高等学校	105
3	大分県立臼杵高等学校	106
4	大分県立臼杵商業高等学校	107
5	大分県立竹田高等学校	108
6	大分県立森高等学校	109
7	大分県立日田林工高等学校	110
8	大分県立中津南高等学校	111
9	別府市立別府商業高等学校	112
10	別府溝部学園高等学校	113

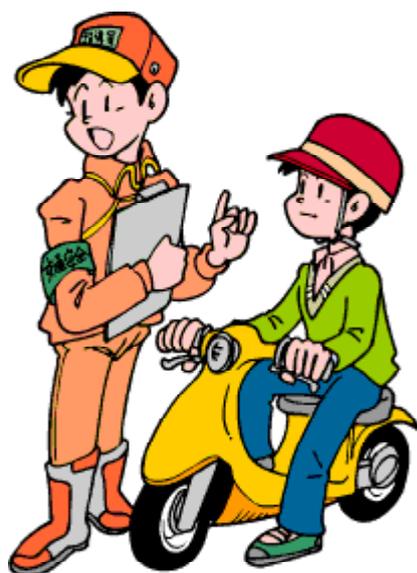
1 1	藤蔭高等学校	-----	1 1 4
-----	--------	-------	-------

VIII その他の取組

1	大分県立国東高等学校	-----	1 1 5
2	大分県立杵築高等学校	-----	1 1 6
3	大分県立大分豊府高等学校	-----	1 1 8
4	大分県立三重総合高等学校	-----	1 1 9
5	大分県立日田林工高等学校	-----	1 2 0
6	別府溝部学園高等学校	-----	1 2 2
7	大分高等学校	-----	1 2 4
8	藤蔭高等学校	-----	1 2 5
9	大分県立由布支援学校	-----	1 2 7
1 0	大分県立別府支援学校鶴見校	-----	1 2 8
1 1	大分県立別府支援学校石垣原校	-----	1 2 9
1 2	大分県立竹田支援学校	-----	1 3 0

交通安全教室

＝ 原動機付自転車編 ＝



交通安全教育報告書

取組名	単車安全運転講習会	分類	交通安全教室
取組の特徴	杵築日出警察署・杵築自動車学校と連携した単車安全運転講習会		
学校名	大分県立杵築高等学校		

取組の概要

1 ねらい

○交通事故・交通違反防止のための注意喚起を行い、生徒の交通安全に対する意識高揚を図る。

2 日時

○第1回（2年生）・・・平成25年 5月15日（水）14：00～16：00
 ○第2回（3年生）・・・平成25年 6月28日（金）14：00～16：00

3 場所

○杵築自動車学校

4 内容

○交通安全講話と安全運転実技講習、及び単車の安全点検

5 効果

- 警察署・自動車学校の講話と実技講習をとおして、より具体的な単車運転に伴う危険性の認識・再確認と運転実技の向上が図れている。
- 単車の性能や性能限界、安全性・危険性を具体的に認識できている。
- エンジンオイルの点検、タイヤの摩耗点検、ウインカー点検、ライト点検などを行い、安全性が向上し、不備な者へは改善がなされている。
- 一旦停止の確認と、交差点の進入方法などを学び、安全運転の方法が定着した。
- 昨年度よりも事故、違反件数は大きく減少している。



交通安全教育報告書

取組名	交通安全講話及び二輪車（バイク・自転車）実技講習	分類	交通安全教室
取組の特徴	県交通安全教育講師の派遣による交通安全教室及び二輪車の実技講習		
学校名	大分県立国東高等学校双国校		

取組の概要

(1) 日時

○平成25年5月17日（金） 13：05～14：45（100分間）

*交通安全講話（50分）*交通安全実技講習（50分）

(2) ねらい

○交通安全講話と二輪車（バイク・自転車）の実技講習を実施することで、交通安全の意識向上を図る。

(3) 活動内容

○県の交通安全教室講師である河野さん・小野さんを派遣していただき、視聴覚教室を利用し、交通安全講習（50分）を実施。その後、中庭に移動し、二輪車（バイク（5台）、自転車（35台））に対し、実技講習の実施。

（交通安全講話の様子）



（バイク・自転車の実技講習の様子）



(4) 効果

○昨年度の当初にバイク（原付）による交通事故（車との接触・自損事故）が連続して発生したので、今年度は可能な限り早めに交通安全講習を実施しました。そのため今年度は、大きな事故もなく、生徒の交通安全への意識もかなり向上したのではないかと感じています。

交通安全教育報告書

取組名	安全運転と交通マナー向上	分類	交通安全教室
取組の特徴	杵築日出警察から自転車利用モデル校に指定され、自転車や原付バイクの交通マナーアップの活動及び一層の自転車等の交通マナー向上を行っている		
学校名	大分県立日出暘谷・日出総合高等学校		

取組の概要

1、ねらい

高校生が、自転車事故により加害者となる問題や原付バイク事故で尊い命を落とすという、痛ましい事故が発生している。本校では、自転車や原付バイクの交通マナーアップの活動を行うことにより、このような事故が今後起きないように指導を行うとともに、犯罪者を作らないために生徒自身が自転車の完全施錠による犯罪防止に取り組む。

2、内容

啓発活動1（自転車通学生集会）

約100名の自転車通学生がいる。事故をなくすためには、自転車を運転する者が相手や自分を傷つけるということを実感し、責任を持って運転すること等を学習させた。

啓発活動2（高校生交通安全教室）

全校生徒を対象に、杵築日出警察署生活安全課及び本田技研工業株式会社により、高校生交通安全教室を実施した。自転車の安全教育における座学と実技を学ばせることにより、今後の生徒自身による自主的活動に結びつけることができた。

啓発活動3（原付バイク安全運転講習会）

約20名の原付バイク通学生がおり、杵築日出警察署交通課と連携し、若年者体験型講習会を開催した。杵築自動車学校構内において原付バイク安全運転講習会を実施し、座学及び実技訓練により知識と技術向上等、安全運転の重要性について学習させた。また、SDカード提出を義務づけ、日ごろの安全運転を意識化させている。

啓発活動4（朝の街頭呼びかけ運動）

毎月初めに、生徒会交通安全委員会による、朝の街頭呼びかけ運動を実施している。また、同時に地域の方と職員全員が、あいさつ運動を実施して交通安全とあいさつ指導を行い意識付けを実施している。

3、効果と今後

生徒自身が啓発活動を実施することにより、自ら考え行動するきっかけとなった。今後は、生徒同士の声掛けにより、安全運転や防犯行動ができるように指導したい。



（朝の街頭呼びかけ運動）



（原付バイク安全運転講習会）

交通安全教育報告書

取組名	原付バイク実技講習会	分類	交通安全教室
取組の特徴	自動車学校での実技講習で緊張感を持たせ実施できる		
学校名	大分県立由布高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時</p> <p>○平成25年 5月11日 土曜日</p> <p>○実施時間 10:00～12:00</p> <p>○参加者 バイク通学生 11名（3年5名・2年6名）</p> <p>2 ねらい</p> <p>講話をとおして、二輪車の特性を理解し、実技講習で安全に運転する技能を高めると共に、運転に際して、危険な行為や危険回避について理解させ安全運転に努めるようにする。</p> <p>3 活動内容</p> <p>○大分南警察署・大分県自動車学校に依頼する。</p> <p>○当日、生徒は指定のJRを利用し集合させる。（保護者の送迎は可）</p> <p>○講話 20分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状 ・危険運転と安全運転について <p>○実技講習 100分</p> <p>実訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シュミレーター（危険予測） ・基本走行 ・狭路体験 ・法定速度 <p>○左折時の危険</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイクロバスに乗車し、交差点左折時の危険性を確認する。 <p>4 効果</p> <p>バイク運転（通学）について再度考える時間を持つことにより、普段では、気にならない狭路や法定速度の確認につながり、安全運転を意識した運転が出来るようになるとともに、自分の身を守るための運転や事故を起こさない運転を確認できた。また、大型車の巻き込みの危険性を職員の方が実際に乗車して見せることによりバイクの危険性を確認できた。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	二輪車の体験型交通安全教育	分類	交通安全教室
取組の特徴	臼津地区の高校生が連携して取り組む体験型の交通安全講習		
学校名	大分県立臼杵高等学校		

取組の概要

1 日時および会場

○7月12日(金) 14:00~16:00

○臼杵亀の井自動車学校

2 ねらい

○原動機付き自転車で通学する高校生の交通安全意識の徹底と、運転技能の向上を図る。

3 対象生徒

○臼津地区の高校に通う、原動機付き自転車通学生

4 講師

○臼杵津久見警察署交通課白バイ隊員・臼杵亀の井自動車学校教官

5 活動内容

○交通法規学習

実技講習（法規走行・交差点の右左折走行・進路変更・スラローム・危険回避など）



交通安全教育報告書

取組名	交通安全の取組	分類	交通安全教室
取組の特徴	交通安全への注意喚起に対する実践		
学校名	大分県立津久見高等学校		

取組の概要

1 ねらい

交通安全や生活安全に対する注意喚起を行い、危険を予測し回避する意識・能力を身につけさせる。

2 方法

- (1) 生徒指導部による、全校生徒への講話の実施、原付通学生集会、自転車安全点検による安全指導
- (2) 教員による交通安全指導、登下校指導

3 実施内容

4月 8日（月） 始業式後、原付バイク通学生集会

5月 1日（月）～自転車安全点検・再検査

6月 5日（水） 7限目DVD「事故にあわない事故をおこさない～自転車を運転するときの危険と責任～」を利用した講話の実施

7月12日（金） 若年者原付安全運転講習会（臼杵津久見警察署、亀の井自動車学校臼杵と連携）を実施。参加生徒原付通学許可生13名。

・教員による朝の交通安全指導、登校・下校指導（週1～2回）

・春・夏・秋・冬の全国交通安全実施に対し、全校生徒へ交通安全に対する呼びかけ及び教室でのチラシの掲示

4 取組内容

交通安全については、全校朝礼やホームルームの場で機会あるごとに指導を行っている。危険を予測する知識を持たせるため、交通講話を実施した。自転車を運転する者と自動車を運転する者の意識の差を生徒が実感できたようであり、どこに危険が潜んでいるかを認識させることができた。

また、原付バイク通学生の死亡事故をなくすという観点から、警察署及び自動車学校と連携して原付安全運転講習会を実施してもらっている。生徒の交通安全に対する意識の高揚につながっていると思われる。



交通安全教育報告書

取組名	原付バイク実技講習会	分類	交通安全教室
取組の特徴	原付免許取得者対象に、竹田警察署・竹田自動車学校の協力により、講話・実技講習を行う		
学校名	大分県立三重総合高等学校久住校		

取組の概要

1 日時

平成25年12月6日（金） 13:30～16:00
例年2学期期末考査最終日に実施

2 ねらい

- ①竹田警察署管内における交通違反・交通時の実態について理解する。
- ②原付運転技術、交通安全上の注意点等を理解する。

3 活動内容

- ①竹田警察署交通課職員による講話
- ②竹田自動車学校職員による原付点検
- ③実技指導（交通マナー、運転技術）
- ④講評

4 効果

本校は学校までの通学者だけではなく、寮生の帰省・登校に原付使用を許可しているため、長距離の移動を行う生徒がいる。そのため交通事故に遭う可能性が高い。そのため竹田警察署管内での交通事故の現状等を知ることにより、交通安全を心がけた原付使用ができるようになる。また、実技講習によって正しい原付の交通マナーや運転技術の習得ができる。



竹田警察署交通課職員による講話



実技講習の様子

交通安全教育報告書

取組名	平成25年度 交通安全実技講習会	分類	交通安全教室
取組の特徴	地域の警察交通課と自動車学校の協力を得て、新規原付バイク免許取得者に対する講義と実技講習を行う		
学校名	大分県立竹田高等学校		

取組の概要

1. 目的 交通マナーについて正しい知識を身につけると同時に、自他の生命を尊重して安全に行動でき、交通事故・違反等、交通状態の改善に寄与できる態度を養う。
2. 日時 平成25年5月17日（金）13：30～15：30
3. 場所 竹田自動車学校 講義室・教習コース
4. 内容 ①講義 大分県警 竹田警察署 交通課



《講習会の開会式》



《竹田署交通係長の講義》

- ②実技講習 竹田自動車学校



《実技講習の諸注意》



《車両の安全点検》



《急制動》



《危険回避》



《慣熟走行・スラローム》

交通安全教育報告書

取組名	バイク免許取得者実技講習会	分類	交通安全教室
取組の特徴	原付自転車の安全な乗り方の講習		
学校名	大分県立玖珠農業高等学校		

取組の概要

1. 日時
平成25年9月19日(木) 15:00～17:00
2. 場所
玖珠自動車学校 玖珠町大字塚脇田中
3. 参加生徒
3年 11名 2年1名 1年1名 計 13名 引率教諭 2名
4. 協力
玖珠自動車学校・玖珠警察署
5. 目的
専門指導員の実技指導を通じて、二輪車の正しい乗り方を身につけ、交通安全に対する意識を深める。
6. 活動内容
 - ・玖珠警察署の交通係の方より、交通法規・マナー等の受講をした。
 - ・玖珠自動車学校の教官による実技指導を受けた。
7. 効果
日頃、あまり意識していない運転操作や交通ルールを再度確認することで、バイクの免許保有者の交通安全に対する意識の高揚と技術の向上を図っている。



バイク免許取得者実技講習会の様子

交通安全教育報告書

取組名	自動車学校でのバイク実技講習	分類	交通安全教室
取組の特徴	自動車学校内のコースを利用した実践的なバイクの安全教育		
学校名	大分県立日田高等学校		

取組の概要

1 日時

第1回 平成25年 6月28日(金) 14:30～16:30

第2回 平成25年11月29日(金) 14:30～16:30

※いずれも定期考査最終日に実施

2 場所

日田自動車学校

3 対象

本校バイク通学生、第2回は夏期休業後の新規バイク通学生

4 ねらい

知識・実技両面から安全運転に対する意識を高め、技量の向上を図る。

5 効果

実際にコース上でバイクに乗り、また実際によく起きる事故のパターンを自動車学校教官が再現するのを見ることで、バイクの便利さとともに危険性についても理解でき、交通法規を守り安全運転に対する意識も高まった。



交通安全教育報告書

取組名	バイク通学生安全運転実技講習会	分類	交通安全教室
取組の特徴	日田警察署・自動車学校と連携した交通安全教室		
学校名	大分県立日田林工高等学校		
取組の概要			
1	日時 12月3日(火)期末考査1日目14:00～16:00		
2	場所 日田自動車学校		
3	ねらい この先寒くなると道路の凍結等、生徒の登下校時における安全確保が急務となるなかで、運転技能と交通道德の向上および安全運転意識の啓発を図る。		
4	活動内容 バイク通学生67名が、日田自動車学校の二輪指導教官等から指導を受ける。		
5	講習内容 ○座学…法令関係 ○車両点検…日常点検、自賠責保険のチェック、ヘルメットの正しい着用 ○慣熟走行…ケーススタディー 【二輪の特徴的な交差点事故を再現し観察学習】 【巻き込まれ事故・右直事故・出会い頭事故】 後輪ブレーキと前後輪ブレーキとの制動距離を比較 ○応用走行…交差点の通行方法		
6	効果 交通事故の防止が図れる。		

交通安全教育報告書

取組名	原動機付き自転車安全運転実技講習	分類	交通安全教室
取組の特徴	1学期4月（2．3年対象）、2学期10月（1．2年対象） 年2回実施		
学校名	大分県立宇佐高等学校		

取組の概要

4月22日（34名参加）、10月16日（23名参加）の両日の放課後に職員引率のもと、宇佐自動車学校において、原動機付き自転車安全運転実技講習会を実施した。内容は仕業点検、二輪車の特性、進路変更のタイミングと安全確認、交差点における安全な通行方法、急制動、バランス、危険回避等であった。生徒は、それぞれの運転技術の未熟さを痛感し、安全運転への意識が向上したように感じられた。



交通安全教育報告書

取組名	交通安全二輪車実技講習会	分類	交通安全教室
取組の特徴	宇佐自動車学校協力のもと、原付免許取得者を対象とした原付の実技講習		
学校名	大分県立宇佐産業科学高等学校		

取組の概要

1. 目的

交通徳を遵守するために単車の正しい乗車姿勢・交通ルールを身につけ、事故・違反の防止を図り交通安全に努める態度を養う。

2. 日時 平成25年 10月18日(金) 14:30~16:30

3. 場所 宇佐自動車学校

4. 講師 大分県宇佐警察署交通課・宇佐自動車学校教官

5. 参加者 原付免許取得生徒 約60名
教職員(該当生徒のいるクラスの担任または副担任)
※本校では、原付免許の取得に関しては、一定の条件を満たしていれば、通学に使用しなくても取得可能としている。

6. 内容 交通安全に関するVTR視聴
実技講習(正しい乗車姿勢、側方通行、進路変更、制動)



交通安全教育報告書

取組名	バイク実技講習会	分類	交通安全教室
取組の特徴	通学用バイクの点検整備や安全運転を学ぶ活動		
学校名	大分県立安心院高等学校		

取組の概要

1. 日時

- 年間に2回、1学期と2学期に実施
- 実施時間帯は、放課後の1時間程度

2. 対象生徒

- バイク通学生全員

3. ねらい

- バイクを安全に運転するための基本的な技能を再確認させることを通して、安全運転の意識を喚起し、交通事故防止に役立てる。
- バイクの日常的な整備・点検方法を実習させ、メンテナンスの重要性を学ばせる。

4. 活動内容

- 自動車学校の教官を学校に招聘して行う。
- 教官からバイクの整備・点検方法の説明を受け、参加生徒はその場で実際に点検を行う。
- グラウンドに設定された道路や交差点をバイクで走行しながら、教官による交通安全指導を受ける。



バイク実技講習会の様子

交通安全教育報告書

取組名	原付実技講習会	分類	交通安全教室
取組の特徴	バイク通学生を対象に日田自動車学校での講習		
学校名	藤蔭高等学校		

取組の概要

1. 日時

6月28日(金) 14:30～16:40

2. 目的

- 原付自転車通学生の交通徳の向上と運転技能向上を図る。
- 実技・知識の両面から安全運転に関する啓発を図る。

3. 活動内容

- 道路交通法の改正の内容
- 実技講習

4. 実施後の状況

例年、市内の高校（本年度は日田高校）と合同で実施している。日田自動車学校の職員の方による様々な場面での実演が行われ、生徒の安全意識が高まったと思われる。今後も継続して安全意識に努めるように指導する。



交通安全教育報告書

取組名	稲葉学園竹田南高等学校交通安全教育	分類	交通安全教室
取組の特徴	原付免許所持者への安全運転教育		
学校名	稲葉学園竹田南高等学校		

取組の概要

○原付免許所持者に安全運転教育を実施。

名称：運転免許所持者原付技能講習会

日時：7 / 5 (金) 13:30～15:30

内容：外部講師による原動機付自転車の実技講習

講師 有永勝士(大分県交通安全教育派遣講師)

実技指導(整備、乗り方、ブレーキング、8の字スラローム)

場所：本校片ヶ瀬校舎グラウンド

参加：生徒11名、職員3名(安全担当、生活指導、写真撮影)

※講師の経験を生徒の目線で、より現実的に教えて頂いたので大変有意義な講習会でした。今回は3年生の参加が多かった。次年度に向け2年生などにも参加を呼びかけていきたい。



交通安全教室

＝ 自轉車・歩行者編 ＝



交通安全教育報告書

取組名	交通安全教室	分類	交通安全教室
取組の特徴	座学と共に簡単な体験実技を含めた交通安全講話		
学校名	大分県立高田高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時：平成25年10月2日（水） 15：00～15：50</p> <p>2 場所：大分県立高田高等学校 体育館</p> <p>3 対象：全校生徒（約480名）</p> <p>4 目的：自転車利用者の「ルール、マナー、特性、相手を思いやる心」を学ぶと共に 交通社会人としての自覚と責任を持つ</p> <p>5 活動内容</p> <p>①豊後高田警察署交通課長講話（15分） ※パワーポイント使用</p> <p>②本田技研工業（株）安全運転普及本部 熊本普及 BL による交通安全教室</p> <p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルール、マナーについて ・自転車安全利用五則 ・自転車交通違反の罰則 ・交通事故に遭遇したとき取るべき行動 <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徐行運転（歩道通行時の基本） ※通常走行（10～12km/h）と徐行走行（5~6km/h）の違いを体感する ・基本運転（歩行者の気持ち） ※歩行者に見立てた生徒を数名立たせ、その横を後ろから通常走行と徐行走行で通過し、体感した感想を述べる ・危険運転と運転の仕組み（危険性の確認） ※音楽プレイヤーを操作しながら走行（片手運転） ※音楽プレイヤーで音楽を聴きながら走行（呼びかけに反応できるかの実験） <p>6 効果</p> <p>座学でルールやマナー、罰則等を学ぶだけでなく、生徒自身に危険運転や歩行者としての気持ち を体験させることにより、リアルに危険性を認知することができた。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	自転車安全検査および自転車通学生安全 運転講習会	分類	交通安全教室
取組の特徴	生徒自身が行う通学用自転車の自己点検活動ならびに自動車学校、警察署と連携した自転車安全運転講習会の実施		
学校名	大分県立別府羽室台高等学校		

取組の概要

1. 目的

高校生の自転車乗車中の交通事故が、多く発生していることや、交通社会人の一員として、交通ルールの遵守やマナーアップを図り、道路及び交通の状況に応じて、安全に走行できるようにする。

2. 日時

平成25年5月22日水曜日 13:30～15:10
(1学期中間考査1日目)

3. 対象者

自転車通学生全員 (登録人数 約100名)

4. 場所

亀の井自動車学校 (別府)



5. 講習内容

実技を中心とした、体験講習

- 1 ケーススタディ
- 2 実技① 自転車の危険性
- 3 実技② 自転車のバランス

※自転車検査については上記講習会の2週間前に実施し、ハンドルの形状やブレーキ等の効き具合等の検査を行い、全員合格した上で、自動車学校での上記講習会へ参加させる。



6. 効果

安全運転講習会を実施する前段階で自転車車体検査を実施し、自転車の改造や点検不良をチェックさせることにより、安易な自転車の使用を戒め、安全管理について考えさせる機会となっている。

自動車学校で開催される交通安全講習会では、別府署、亀の井自動車学校の協力の下、敷地の自動車コースを活用して危険運転や視界の悪い場所での危険回避行動等のシュミレーションを実施することにより、安全意識の向上につなげることができた。

交通安全教育報告書

取組名	交通安全教室	分類	交通安全教室
取組の特徴	1年生全員を対象に、大分自動車学校と連携した交通安全教室		
学校名	大分県立大分上野丘高等学校		

取組の概要

1年生全員を対象に、5月28日(火)(4クラス)・30日(木)(4クラス)の両日に、大分自動車学校の協力を得て、大分自動車学校において交通安全教室を実施した。

- 日程 5時間目終了後、大分自動車学校へ移動
 14:45～ 開講式
 14:50～ ①講義
 ②自転車シミュレーターによる実技
 ③よくある自転車交通事故の実演 その1
 ④よくある自転車交通事故の実演 その2
 16:30～ 閉講式

内容

- (1) 講義 交通法規と罰則
 自転車交通事故による損害賠償
 車の死角
 よくある交通事故
- (2) 自転車シミュレーターによる実技
 今年度新たにプログラムに組み込まれたもので、生徒は運転の難しさと、危険回避の難しさに驚いていた。
- (3) よくある事故の実演
 その1 携帯電話を操作しながら、右側通行をしている自転車と、側道から出てきた自動車との衝突
 その2 並進している自転車を避けようとした自動車どうしの衝突の危険性



自転車シミュレーター



講義

交通安全教育報告書

取組名	1 学年交通安全講話	分類	交通安全教室
取組の特徴	自転車通学をする 1 年生を対象の早急な交通安全啓発		
学校名	大分県立大分舞鶴高等学校		
取組の概要			
<p>1 目的 1 昨年 15 件、昨年度 12 件、本校自転車通学生の交通事故が報告されており、昨年 1 学年では 5 月に連続して起こっている。また、地域住民から自転車の交通マナーに関する苦情が寄せられている。 こうした状況のもと、1 学年生徒に対して早急に交通安全教育を実施し、生徒の交通ルール・マナーの遵守を図り、交通安全の意識をさらに高め、登下校を含めた日常生活全てにわたり、交通事故を起こさず、遭わない、心構えを醸成する。</p> <p>2 対象 1 学年生徒、1 学年教職員</p> <p>3 期日 平成 25 年 4 月 26 日(金) 7 限 (14:45～15:30)</p> <p>4 場所 本校体育館</p> <p>5 講演内容 (1) DVD 映写 「安全な通学を考える」～加害者にもならない～ 企画 文部科学省 ① 自分の乗り方は安全か？ ② 危険を予測する力をつける！ ③ 気持ちを意識してみよう</p> (2) 平成 23・24 年度本校自転車交通事故発生状況 <p>終了後、感想文</p> <p>6 講師 生徒指導主任</p>			

交通安全教育報告書

取組名	自転車交通安全教室（1年生対象）	分類	交通安全教室
取組の特徴	自転車マナー（交通法規）と交通事故模擬体験、自転車整備の方法		
学校名	大分県立鶴崎工業高等学校		

取組の概要

- 1 日時 平成25年5月9日（木）13:10～15:20 大分東自動車学校
- 2 ねらい
 - 交通法規を学ぶことにより、自転車も車両であり被害者、加害者の両方になりうることを理解させる。
 - 自転車運転の危険性を体験させることにより、交通事故を未然に防ぎ、法令遵守の精神を育てる。
 - 自転車整備を学ぶことによって、自転車運転の安全性を確保する。
- 3 活動内容
 - 自転車マナーについて（交通法規）
 - 交通事故模擬体験
 - 自転車整備の方法
- 4 成果

生徒体験型の教室であり、交通事故模擬体験や交通法規を学ぶことによって、交通事故の恐ろしさや未然に防ぐためにどう対処しなければならないのか、また、交通法規について理解を深めることができた。



交通安全教育報告書

取組名	事故再現スタントによる生徒向け自転車教室	分類	交通安全教室
取組の特徴	交通マナー（交通法規）を様々な事故再現スタントにより体験		
学校名	大分県立鶴崎工業高等学校		

取組の概要

- 1 平成25年10月24日（木）13：20～ 本校体育館
- 2 ねらい
○交通事故再現スタントにより、実際どのような場面で事故が発生するかを体験することにより、交通事故を未然に防ぎ法令の遵守の精神を育てる。
- 3 活動内容
 - ・事故再現スタント
 - 1 悪い自転車の乗り方
 - 2 歩行者優先道路の事故（自転車×歩行者）
 - 3 見通しの悪い交差点での事故（自転車×自転車）
 - 4 制動距離の実験（自転車）
 - 5 点字ブロックへの違法駐輪（自転車×歩行者）
 - 6 自転車のルール違反重複による事故（自転車×人）
 - 7 夜間の無灯火 正面衝突（自転車×自転車）
- 4 成果
実際の事故がどのような場面で多く発生しているか知ることにより、未然に防ぐために各自が何を遵守しなければならないのかを学ぶことができた。雨天のため、自動車事故との絡みを体験することができず少し残念であった。



交通安全教育報告書

取組名	自転車マナーアップの規範意識の醸成活動	分類	交通安全教室
取組の特徴	自転車事故の再現及びシミュレーターによる交通啓発活動		
学校名	大分県立情報科学高等学校		

取組の概要

1 ねらい

自転車交通安全教室を実施し、交通安全教室を実施し交通ルールの周知・マナーアップの啓発を図るとともに、自転車の安全利用および地域における駐輪場の適正利用の呼びかけや整備を積極的に行うことにより、社会の一員としての自覚を持たせ交通事故の抑止を図ることを目的とする。

2 方法

○大分東自動車学校による交通安全教室の実施

日時 10月30日（水）4限目（11:45～12:35）

対象 全校生徒及び全職員

場所 体育館

- 内容
- ① 「安全な自転車のルール」のビデオ視聴
 - ② 県内外における自転車事故の現状及び道路交通法の改正
 - ③ 自転車を実際に運転し、事故の再現をおこなう
 - ④ 自転車のシミュレーターによる体験



交通安全教育報告書

取組名	HONDA 交通安全教室	分類	交通安全教室
取組の特徴	生徒主体による交通安全教育の実践		
学校名	大分県立津久見高等学校海洋科学学校		
取組の概要			
1. 日時	平成25年11月5日(火) 13:25～15:10		
2. 内容	<p>座学の中に簡単な体験実技を入れた教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ルール・マナー ②自転車安全利用五則 ③運転の仕組み(「認知・判断・操作」) ④自転車交通違反の罰則 ⑤交通事故に遭遇したとき(とるべき行動) ⑥徐行運転(実技・歩道通行時の基本) ⑦基本運転(実技・歩行者の気持ち) ⑧危険運転と運転の仕組み(実技・危険性の確認) <p>※生徒5～6名に実技を行なってもらう。(交通委員)</p>		
3. 指導者	<p>本田技研工業(株)安全運転熊本普及ブロックより2名 大分県臼杵津久見警察署 交通係長</p>		
4. 効果	<p>これまで本校では、年に1回程度自動車学校の協力で自転車の交通安全教室を実施してきた。今年度はそれに加え本田技研工業(株)の協力で全校生徒を対象とした交通安全教室を実施することができた。</p> <p>教室の内容も生徒に問いかけ考えさせることが多く、また、簡単な実技指導を加えていただき生徒も集中して話を聞くことができた。</p>		
			

交通安全教育報告書

取組名	平成25年度中津北高等学校交通安全教育	分類	交通安全教室
取組の特徴	本田技研工業交通安全普及本部の方による自転車のルール、マナー・安全運転・もしもの時の対処法・実技体験の講習を受けることにより、自転車の「ルール、マナー、特性、相手を思いやる心」を学ぶ。		
学校名	大分県立中津北高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時 ○平成26年1月10日（金）7限目 14:55～15:45</p> <p>2 ねらい ○全校生徒を対象とした自転車交通安全教育を実施することにより、自転車の「ルール、マナー、特性、相手を思いやる心」を学ばせる。</p> <p>3 活動内容 ○本田技研工業交通安全普及本部の講師による講演と実技体験。</p> <p>4 効果 ○講演だけでなく、実技体験をすることで自転車の危険性をより身近に理解できる。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	交通安全教室	分類	交通安全教室
取組の特徴	本田技研工業（株）安全運転普及部の方による自転車の交通安全教育		
学校名	大分県立宇佐産業科学高等学校		

取組の概要

1. 目的

交通社会人の第一歩となる高校生に対する交通安全教育を通じて、交通ルールや社会のルールが遵守でき、人の痛みや思いやりを感じられる豊かな人間性と、生徒主体による活動を通じて、自立心を育むとともに、高校生の交通事故削減を目指す

2. 日時 平成25年 10月23日（水） 4・5・6限に学年ごとに実施
 4限・・・2年 5限・・・1年 6限・・・3年

3. 場所 体育館

4. 内容 自転車の交通ルール、交通マナーについての座学と実技
 パワーポイントを使用しての自転車の交通ルールやマナーについての 講義を行いながら、代表生徒による自転車の体験実技を実施。

《講義内容》

- ルール・マナー
- 自転車安全利用五則
- 運転の仕組み「認知・判断・操作」
- 自転車交通違反の罰則
- 交通事故に遭遇したときの行動

《体験実技内容》

- 徐行運転
- 基本運転
- 危険運転と運転の仕組み

5. 協力 Honda熊本製作所 ， 大分県宇佐警察交通課



交通安全教育報告書

取組名	自転車通学生を対象にした自転車安全講習の実施	分類	交通安全教室
取組の特徴	亀の井自動車学校別府校に協力を頂き、実際に校内のコースを利用させて頂いての実技講習と、教室での講義・テストを実施		
学校名	別府溝部学園高等学校		
取組の概要			
<p>1 目的 本校の自転車通学生に対して、交通事故の未然防止を目的に、亀の井自動車学校のご協力のもと、より専門的な見地からご指導を頂く。それにより、事故をしない・させない行動を身につけてほしい。</p> <p>2 日時 平成25年7月2日(火)13時00分開始 (期末考査の最終日に開催。講習は、実技・講義含め、2時間程度であった。)</p> <p>3 場所 亀の井自動車学校 別府校 *毎年、亀の井自動車学校様の多大なるご協力のもと開催ができています。</p> <p>4 参加人数 30名前後 *自転車通学をしており、当日も自転車で登校する生徒が対象。</p> <p>5 引率者 生徒指導部の教員2名で引率。</p> <p>6 事前学習について 今回は、講習会前、自動車学校と協力して作成したプリントを、校内で生徒に事前に解答させました。 そして、講習会当日に試験を実施し、指導員の先生から解説を頂きました。</p>			

高等学校交通安全教育報告書

取組名	交通安全教室	分類	交通安全教室
取組の特徴	中津警察署交通課との協力による全校生徒への講話および生徒指導部による交通安全意識の向上啓発活動		
学校名	東九州龍谷高等学校		

取組の概要

1. ねらい

中津市内を中心に、自転車による接触事故が多発している状況を鑑み、交通安全に対する注意喚起を促し、危険予測・危険回避をする意識や能力を身に付けさせる。また、4月時には新入生の自転車通学が始まり自転車事故数が増加する傾向があるため、新入生には特別に時間を設け、自転車利用のマナーアップを指導する時間を持ち、安全な登下校ができるように援助する。

2. 方法

中津警察署交通課の協力による全校生徒への交通安全講話および自転車シミュレーター。

交通安全意識向上のための「生徒指導部だより」の発行。および、新入生に対して、本校生の自転車事故現場状況を活用した特別交通安全指導(入学時に実施)の中で具体的な危険予知について指導し注意喚起をする。

3. 講話内容

中津警察署職員による交通安全講話および、自転車シミュレーターによる訓練を行い、通学途中での通行方法などの問題点を指摘。また、DVDも活用しながら、「なぜ自転車事故に遭遇するのか」を考えさせながら、危険予測や回避の必要性を注意喚起している。



交通安全教育報告書

取組名	全校集会	分類	交通安全教室
取組の特徴	外部講師による講話及びシミュレーター		
学校名	大分国際情報高等学校		
取組の概要			
<p>1. 日時</p> <p style="margin-left: 20px;">平成25年7月18日</p> <p style="margin-left: 20px;">12時50分～14時20分</p> <p>2. ねらい</p> <p style="margin-left: 20px;">夏休みも近づき、通常とは異なる時間帯の自転車による移動等が多くなると思われるので、交通マナーや交通規則の再確認を含め、自転車等の安全性を確保する。</p> <p>3. 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事例DVDを利用し、これに従い講話を行った。 ・歩道を渡るときのシミュレーション（歩いて）と自転車でのシミュレーションを行った。（それぞれのシミュレーションに多数の希望者が参加） ・教室に戻り、集会の感想を書いてもらい提出した。 <p>4. 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全生徒が集中して参加し、交通安全に対する考え方がより強まった。 ・夏休みは自転車による事故等の報告はなかった。 			

交通安全教育報告書

取組名	自転車安全教室	分類	交通安全教室
取組の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・日田自動車学校から講師を招き、自転車交通ルールの再確認 ・シミュレーター体験 		
学校名	藤蔭高等学校		

取組の概要

1. 日時

4月24日（水） 14:10～14:55

2. 目的

- 登下校時の危険を認識し、回避する意識を養う。交通事故への考えと交通ルール・マナーの遵守の大切さを理解させ、規範意識の向上を図り、交通事故防止へとつなげる。
- 安全な自転車の運転と交通安全意識の向上を図る。

3. 講師

日田自動車学校 副管理者・総務部長 佐藤 豊和 氏 他2名

4. 講話内容

- 自転車の交通ルール
- 自転車事故の現状
- 自転車シミュレーター体験

5. 実施後の状況

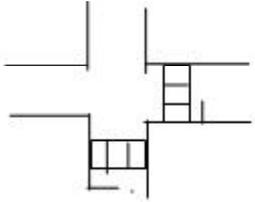
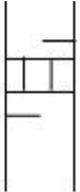
傘さし運転やイヤホンをつけながら運転をする実体験をすることで、危険に対する意識が高まった。交通ルールやマナーなど交通安全に対する意識の高まりがみられた



交通安全教育報告書

取組名	交通安全教室	分類	交通安全教室
取組の特徴	小学部・中学部・高等部と年齢等が大きく異なる児童生徒を一緒に行う		
学校名	大分県立宇佐支援学校		
取組の概要			
<p>1. 日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間1回、6月実施 ・実施時間は、9：55～11：25 <p>2. ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横断歩道の渡り方、信号の見方、対面通行など、正しい交通ルールを学び、安全に留意して登下校することができるようになる。 ・交通安全のルールを知ることができ、交通事故を回避する態度を身につけることができる。 <p>3. 外部講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇佐交通安全協会、宇佐市役所交通安全係、(宇佐警察署交通課) <p>4. 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドに信号のある交差点をつくり、実際に信号に従って横断する練習を行う。 ・交通安全関係のビデオ上映、講師による腹話術での講話。 ・自転車整備点検の箇所ややり方を学ぶ。 			

交通安全教育報告書

取組名	交通安全教室	分類	交通安全教室																				
取組の特徴	警察職員による横断歩道での渡り方の実技指導（補講・自転車）																						
学校名	大分県立中津支援学校																						
取組の概要																							
<p>1 日時</p> <p>○5月10日（金）</p> <p>○実施時間は、9時40分～11時15分</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">9時40分</td> <td style="width: 45%;">ビデオ</td> <td style="width: 20%;">小プレイルーム集合（小）</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">（20分）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>講 話</td> <td>中プレイルーム（中）（高）</td> <td style="text-align: right;">（20分）</td> </tr> <tr> <td>10時05分</td> <td>体育館集合</td> <td>実技指導</td> <td style="text-align: right;">（40分）</td> </tr> <tr> <td>10時45分</td> <td>講 評</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10時50分</td> <td>自転車通学生の指導（グラウンド）</td> <td></td> <td style="text-align: right;">（20分）</td> </tr> </table> <p>2 ねらい</p> <p>○交通安全のルールを知ること、交通事故を回避する態度を身につけることができる。</p> <p>○横断歩道の渡り方、信号の見方、対面交通など、正しい交通ルールを学び、安全に留意して横断できる。</p> <p>3 活動内容</p> <p>○3学部（小学部・中学部・高等部）に分かれ、警察職員の方による交通ルール指導を受け、2パターンの模擬交差点により、正しい横断歩道の渡り方を学ぶ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="text-align: center;"> <p>信号機ありの交差点</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>◇信号機なしの交差点</p>  </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・全体説明を受けたあと、実技指導を受ける。 ・全員が歩行者になり、渡り方などの練習をする。 				9時40分	ビデオ	小プレイルーム集合（小）	（20分）		講 話	中プレイルーム（中）（高）	（20分）	10時05分	体育館集合	実技指導	（40分）	10時45分	講 評			10時50分	自転車通学生の指導（グラウンド）		（20分）
9時40分	ビデオ	小プレイルーム集合（小）	（20分）																				
	講 話	中プレイルーム（中）（高）	（20分）																				
10時05分	体育館集合	実技指導	（40分）																				
10時45分	講 評																						
10時50分	自転車通学生の指導（グラウンド）		（20分）																				

交通安全教育報告書

取組名	全校児童生徒に対する交通安全指導	分類	交通安全教室
取組の特徴	外部指導者による交通安全啓発活動		
学校名	大分県立由布支援学校		
取組の概要			
<p>1. 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通指導員の話の聞いたり、ビデオを見たりして交通安全に対する意識を持つようにする。 ○実際に校外の路上に出て、道路の歩き方や信号機・横断歩道・踏切の渡り方の正しい方法を実施体験する。 <p>2. 日時</p> <p>平成25年4月13日（金）3～4時間目（10：35～12：10）</p> <p>3. 場所</p> <p>本校体育館、校外</p> <p>4. 指導者</p> <p>大分県交通安全協会 大分南支部指導員3名</p> <p>5. 日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体育館にて講話、ビデオ、模擬交差点補講指導 ○2コースに分かれて実際に校外に出て歩行練習する。 <ul style="list-style-type: none"> （長い距離コース）自分で安全を確認しながら歩くとともに、歩道や信号機のある・ない交差点の渡り方の練習をする。 （短い距離コース）教師と一緒に安全を確認しながら歩く。 			

交通安全教育報告書

取組名	交通安全教室開催による交通安全指導	分類	交通安全教室
取組の特徴	交通安全協会大分南支部との連携による年2回実施の交通安全教室		
学校名	大分県立新生支援学校		

取組の概要

1. 日時

(1回目) 平成25年6月5日(水) 9:35~11:30

(2回目) 平成25年10月10日(木) 9:35~11:30

2. ねらい

信号機の見方や横断歩道の渡り方、自転車の乗り方などを説明や実技を通して学ぶことで、交通安全の大切さを理解する。

3. 場所

体育館、プレイルーム、グラウンド、学校周辺

4. 内容

(1回目)

交通指導員から、腹話術の人形やボードを用いて交通マナーに関する説明があった。その後、交通事故防止のビデオを視聴した。雨天のため校外を歩行できなかったが、体育館に準備した模擬横断歩道を、交通ルールを守りながら教師や交通指導員と一緒に歩行した。

(2回目)

交通指導員から、交通事故での対処の仕方について、被害者と加害者の両方のケースで話があった。その後、歩行グループと自転車グループに分かれて学習をした。歩行グループは、信号を見ながら安全に注意して学校周辺を歩行した。自転車グループは、自転車の安全点検の仕方やサドルの調整の仕方の説明を受けた後、グラウンドのコースを模擬信号に従い、手信号を出しながら走行した。



交通安全教育報告書

取組名	自転車安全講習会	分類	交通安全教室
取組の特徴	自転車メンテナンスの指導		
学校名	大分県立大分支援学校		
取組の概要			
<p>1 日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎年7月初旬 ○11:00～12:00 <p>2 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通学路の危険箇所の認知と対処方法を理解する。 ○事故にあったときの対処方法を理解する。 ○自転車のメンテナンス方法を理解する。 <p>3 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通学路の危険箇所をみなで発表し合うことで再確認し、どのように自転車走行すべきか討議する。 ○事故にあったときの対応マニュアルを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・警察を必ず呼ぶ。学校・保護者に事故の状況及び体の状態を連絡する。相手の連絡先を聞く。自転車を道路の端の方に寄せる等。 ○自転車のチェック箇所（ブレーキの効き、ライトの点灯、サドルの高さ、改造箇所）を確認しチェック方法を知る。また、チェーン部分に定期的にオイルをさし走行がスムーズかつ安全におこなえるように自転車の状態を整える。 <p>4 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒自ら意見を出し合うことで、危険箇所を意識することができる。 ○事故がおこった場合もポイントを少なめに絞ることで混乱せず対応出来るようにした。 ○自転車のメンテナンス方法がわかり保護者と一緒に挑戦する生徒がいた。 			

交通安全教育報告書

取組名	交通安全教育	分類	交通安全教室
取組の特徴	スクールバスの乗車や自転車通学・公共交通機関利用時のマナーや安全に関する教育		
学校名	大分県立臼杵支援学校		
取組の概要			
1. 形態	1 学期当初、小学部・中学部・高等部それぞれに於いて、児童生徒の障がいの実態に応じたスクールバス乗降の際の安全指導、自転車通学の注意点やバス・電車等の公共交通機関を利用する際の安全留意点等を個別又はグループごとに行っている。		
2. ねらい	<p>知的障がいのある生徒に道路を渡る時に気をつけることや安全に対する意識を高めさせる。</p> <p>スクールバスをはじめ、公共交通機関等でのルールを学び、卒業後の生活に役立てる。</p> <p>自転車通学の際に気をつけることを確認し、安全に対する意識の向上を図る。</p>		
3. 内容	<p>学期当初に実際に道路に出て信号を渡るときの留意点等を確認する。</p> <p>校外学習等の際に公共交通機関等でのマナーや安全教育を行う。</p>		

交通安全教育報告書

取組名	「交通安全教室Ⅰ」	分類	交通安全教室
取組の特徴	道路を歩くためのきまりや自転車の乗り方を知り交通ルールを守る		
学校名	大分県立佐伯支援学校		

取組の概要

1 日 時

- 平成25年4月26日（金）
- 9：40～10：25（2校時） 小・中学部児童生徒対象
- 10：35～11：20（3校時） 高等部生徒対象

2 ねらい

- 道路の歩行や自転車の乗り方についてDVD視聴したり講師の話を知り交通ルールを守ろうとする意識を持つ。

3 活動内容

- 年度始めにあたり、体育館に臨時的横断歩道をつくり、道路の歩き方、横断歩道の正しい歩き方、自転車の乗り方などについて講師（大分県生活環境部・交通安全教育講師）を招へいして学習した。
- 児童生徒が関心をもてるようにDVD視聴をした。
- 横断歩道の渡り方や自転車の正しい乗り方を実践したり、クイズ形式で質問したりして児童生徒に考えさせた。
- 高等部では、自転車の安全な乗り方に加えて、自転車に乗ることで被害者だけでなく加害者になる場合もあるという話を聞くことができた。

4 効果

- 小・中学部と高等部の2つに分けたことで発達段階に応じた授業を行うことができた。その後、学部ごとに校外学習や生活単元学習などでその都度指導してきたことで、より実践的な態度を育てることにつながった。
- 事故に遭ってしまった場合、「警察を呼んでください」と伝えることの大切さを児童生徒が学ぶことができた。



横断歩道の渡り方



横断歩道の渡り方

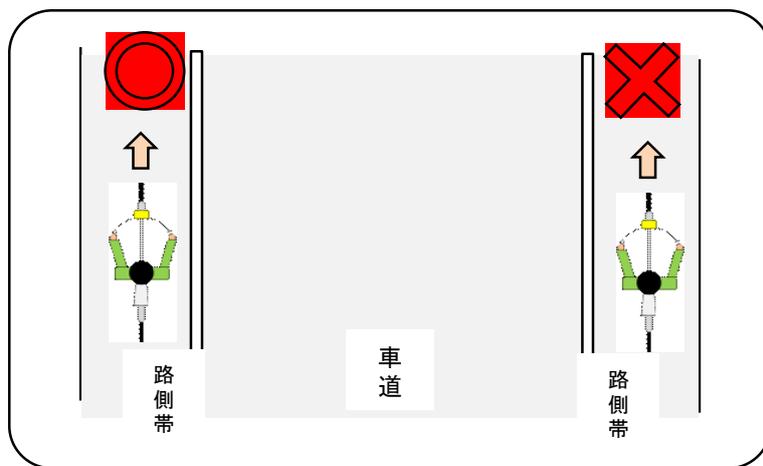


講師の先生の話

交通安全教育報告書

取組名	交通安全教室	分類	交通安全教室
取組の特徴	児童生徒の実態に応じ、3グループに分かれての実技訓練		
学校名	大分県立日田支援学校		
取組の概要			
<p>1 日時</p> <p>○平成25年4月25日(水) 9:35～11:15</p> <p>○毎年、年度当初に安全教育の一環として行っている。</p> <p>2 ねらい</p> <p>○交通安全教室を通して交通法規を確認し、交通現場を想定した模擬道路で交通ルールを意識しながら実際の歩行や自転車等の運転を行い、実生活で活かせるようにする。</p> <p>☆ 基礎グループ 交通安全の基礎をじっくり学び、信号の認識や信号の見方、渡り方を知る。</p> <p>☆ 歩行・自転車グループ 信号の見方や、横断歩道の正しい渡り方、走行ルール(安全確認等)を、実技を通して理解する。</p> <p>3 活動内容</p> <p>○実態別のグループに分かれての交通安全教室</p> <p>A・基礎グループ …アニメ DVD 鑑賞、交通安全協会交通指導員からのお話 道路横断体験学習(室内での模擬横断歩道使用)</p> <p>B・歩行グループ …アニメ DVD 鑑賞、交通安全協会交通指導員からのお話 交通指導員による歩行、道路横断等の実技指導</p> <p>C・自転車グループ…交通指導員による自転車走行、道路横断等の実技指導 自転車マナーについての DVD 視聴、交通指導員による講話</p> <p>※B・Cグループの実技は、運動場の特設実技コースを使用</p> <p>4 効果</p> <p>児童生徒の実態や生活習慣に応じたグループ分けをし、歩行・自転車グループでは、グラウンドに設けた模擬道路を実際に歩行・走行しての指導が受けられた。自転車グループにおいては、乗車前点検についての指導もあった。実技に使用できる自転車の台数が増え、生徒たちは交代で乗車して指導を受けることができた。自転車通学生あるいは休日などに自転車を利用している生徒たちは、交通指導員の指導を熱心に聞き、模擬道路での実技に取り組んでいた。</p> <p>年度当初にこのような交通安全教室を実施することで、交通ルールを守ろうとしたり、交通安全に気をつけようとしたりする気持ちが芽生え、確認ができています。</p>			

交通安全講話



[改正道路交通法 平成25年12月1日施行]

交通安全教育報告書

取組名	交通講話	分類	交通安全講話
取組の特徴	杵築日出警察署と連携した交通講話と単車通学生講話		
学校名	大分県立杵築高等学校		
取組の概要			
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通マナーは、自己の安全のみならず他者の安心・安全につながることを理解させ、自己管理能力と他者への配慮を身につける。 ○正しい自転車・単車の乗り方を理解し、交通マナーが日常的に実行できるようになる。 <p>2 日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成25年 5月10日(金) 15:25～16:30 <p>3 場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大分県立杵築高等学校 体育館 <p>4 講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ○杵築日出警察署 交通課長 佐藤 修 警部 <p>5 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校長あいさつ・講師紹介 ○交通講話・映写会(40分) <ul style="list-style-type: none"> ※対象…全校生徒(715名) ○単車通学生講話(20分) <ul style="list-style-type: none"> ※対象…単車通学生(54名) <p>6 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高校生の自転車事故のDVDにより、自転車事故を起こしたときの責任や賠償について学べ、交通安全の意識が高まった。 ○道路交通法を学習し、多くの行為が法律違反であることを知ることで、規範意識が高まった。 ○原付バイクの危険性を学習でき、慎重にバイクを運転するようになった。 ○原付バイクの性能を知ること、安全運転を心がけるようになった。 ○昨年度より事故・違反件数は大きく減少している。 			

交通安全教育報告書

取組名	交通講話	分類	交通安全講話
取組の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車事故による加害者になったときの保険金についても言及した ・警察官に来てもらい、事故にあった後の処理についても話した 		
学校名	大分県立別府鶴見丘高等学校		

取組の概要

1. 日時 12月18日(水) 15:30～16:20

2. ねらい

- 今年度に入り、自転車事故や交通事故が多発しているため、再度交通安全意識の向上を図る。
- 交通事故を起こしたり、遭ったりしたときの、事後処理を理解し、行動できるようにする。
- 自転車事故で加害者になったときの、保険について理解する。

3. 内容

- ビデオ「自転車事故の恐ろしさ」の上映20分
- 実際の事故を基にして、賠償金について理解する内容
- 警察官による講演「改正道路交通法及びもし事故に遭ったら」25分
- 改正道路交通法と事故にあった際の処理について話してもらう。

4. 効果

- 生徒にとって、高額賠償金のことは新鮮で、気持ちを入れ替えて自転車に乗るといふ言葉が聴かれた。



交通安全教育報告書

取組名	交通講話	分類	交通安全講話
取組の特徴	市内警察署の交通安全課職員による交通講話		
学校名	大分県立別府青山高等学校		
取組の概要			
1	<p>日時</p> <p>○年に1回（9月）実施 ○実施時間は、50分</p>		
2	<p>ねらい</p> <p style="padding-left: 40px;">専門家による交通安全についての話を聞くことにより、より安全への意識を高める。</p>		
3	<p>活動内容</p> <p style="padding-left: 40px;">市内警察署の交通安全課職員による交通講話 今回は「自転車による交通事故はこうして起こる」が主題だった。</p>		
4	<p>効果</p> <p style="padding-left: 40px;">普段は、校内の職員から交通安全マナー指導を受けているが、専門家による講話、指導は生徒の強い意識向上につながった。</p>		

交通安全教育報告書

取組名	2・3年生交通安全講話	分類	交通安全講話
取組の特徴	自転車通学をする2・3年生を対象の早急な交通安全啓発		
学校名	大分県立大分舞鶴高等学校		
取組の概要			
1 目的	<p>今年度も、本校自転車通学生の交通事故が多発している。運転技術の未熟、危険予測し回避する力の不足、心の焦り等が起因していると考えられる。また、地域住民から自転車の交通マナーに関する苦情が寄せられている。</p> <p>こうした状況のもと、生徒の交通ルール・マナーの遵守を図り、交通安全の意識をさらに高め、登下校を含めた日常生活全てにわたり、交通事故を起こさず、遭わない、心構えを醸成する。</p>		
2 対象	2・3年生徒、教職員		
3 期日	平成25年 6月14日(金) 7限 (15:15～16:05)		
4 場所	本校体育館		
5 講師	<p>(交通安全教育講師派遣事業により依頼)</p> <p>早水 琢也 氏 交通安全関係業務従事年数25年 絆総合株式会社 (生命保険・損害保険 代理店) NPO 法人 全九州ヘルプネット会員</p>		
6 講演内容	<p>「自転車安全利用五則，危険予測・回避について」</p> <p>終了後、感想文</p>		
7 生徒配布物	<p>①めじろん反射キーホルダー</p> <p>②自転車安全利用五則(チラシ)</p>		

交通安全教育報告書

取組名	自転車事故の防止及び事故後の対応について	分類	交通安全講話
取組の特徴	保険の専門家を活用した交通安全教育		
学校名	大分県立大分西高等学校		

取組の概要

1 目的 本校は、平成20年度から平成21年度までの2年間にわたる「大分市自転車マナーアップ事業」モデル校の経験を生かし、安全指導やツーロックの徹底等の取り組みにより、交通安全意識の向上を図ってきた。

しかし、昨年度は、自転車事故が9件報告され、事故後の対応にも不備がある。このような現状を踏まえ、事故防止対策、事故後の対応、交通マナーについての基本的な知識を習得させ、交通安全指導の充実を図り、違反や事故の減少を目指す。

2 日時 平成25年5月7日(火) 7限 HRA (14:30～15:15)

3 会場 本校体育館

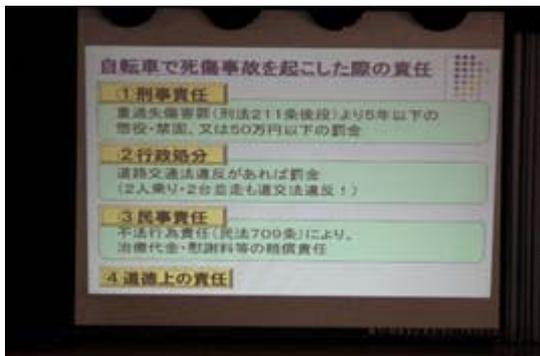
4 対象者 2・3年次生及び教職員 256名

- 5 次第**
- (1) 開会
 - (2) 講師紹介
 - (3) 講話
 - (4) 謝辞
 - (5) 閉会



会場の様子

6 講師 山崎 裕司 氏
 NPO法人全九州ヘルプネット大分県副幹事
 東京海上日動代理店 代表取締役
 大分県交通安全教育講師



パワーポイントで説明



自転車通学生の学校付近の通学路・通学方法

交通安全教育報告書

取組名	交通講話	分類	交通安全講話
取組の特徴	年度初めの早い時期に、交通安全に対する意識を高める		
学校名	大分県立由布高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時</p> <p>○平成25年 5月10日 金曜日</p> <p>○実施時間 14:05～14:55</p> <p>○参加者 全校生徒 388名 教職員 48名</p> <p>2 ねらい</p> <p>交通講話をとおして、歩行者および自転車・二輪車のルールやマナーを再認識させ、交通安全に対する意識の高揚を図り、事故の撲滅を目指す。</p> <p>3 活動内容</p> <p>○講師：大分南警察署 交通課 武津 秀樹 企画・規制・免許係長</p> <p>○講話：40分間</p> <p>警察官の立場から、事故の原因と事故のつながりを講話し、事故にあった時の対応の仕方を説明。</p> <p>4 効果</p> <p>「交通安全に対する意識」・「交通事故防止に対する知識」を高め、「命の大切さ」・「交通安全」を意識した生活ができるようになった。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	交通安全講話	分類	交通安全講話
取組の特徴	学校周辺地域の現在の課題に焦点を当てての講話を実施		
学校名	大分県立森高等学校		
取組の概要			
1	<p>ねらい</p> <p>生徒の交通安全に対する意識の高揚と交通マナーを身につける。 地域の交通事情を理解して、自分の身は自分で守る意識を持つ。</p>		
2	<p>実施日時</p> <p>6月14日（金） 7限</p>		
3	<p>実施方法</p> <p>年度の早い段階で、交通安全への意識づけを行うために、授業時間を1時間使って、全校生徒を対象とした、交通安全講話を実施する。 実施に当たっては、地域の警察交通課と連携して、現在の地域での課題について打ち合わせ、その課題に合わせての講話内容を検討してもらう。</p>		
4	<p>効果</p> <p>本年度は、自転車の安全利用に焦点を当てた講話内容となった。DVDの映像と合わせて、自転車利用のルール、マナー、事故に遭わない・起こさないためには自分の意識や行動が重要であるということが学習できた。</p>		

交通安全教育報告書

取組名	バイク・自転車の安全運転推進	分類	交通安全講話
取組の特徴	警察によるバイク・自転車の安全運転についての講話		
学校名	大分県立日田高等学校		
取組の概要			
1	日時 平成25年11月20日(水) 6限		
2	対象 本校全生徒		
3	ねらい ○本校生徒のうち多数を占める自転車通学生、またバイク通学生に対して、実際に様々な取り締まりや事故現場を経験している警察関係者からの具体的な事例を紹介しながらの話聞くことで交通安全への意識を高めさせる。 ○12月から施行される、改正道路交通法についての説明を通して、自転車の左側通行を徹底させる。		
4	効果 DVDの使用や実際の事故例、加害者になったときの賠償額、取り締まり例などを紹介しながらの講話で、生徒には理解しやすい内容であった。実際に自転車やバイクで事故に遭いそうになったり、軽傷であったが怪我をした生徒もあり、交通安全に対する意識は高まったようである。		

交通安全教育報告書

取組名	警察官を講師に交通安全マナーを学ぶ	分類	交通安全講話
取組の特徴	全校生徒を対象にしてDVDを観ながら自転車の安全運転を学ぶ		
学校名	大分県立日田高等学校定時制		
取組の概要			
<p>1 日時 平成25年5月22日（水） 18:20～19:20</p> <p>2 場所 日田高校全日制会議室</p> <p>3. 内容 本校の生徒は自転車通学が多いので自転車を中心としたマナー教育を日田警察署の交通課の警官にお願いした。最近の問題点として携帯を使用しながらの自転車運転がある。 世間でも歩行者にぶつかって自転車の運転側が加害者となるケースが多いようなのでDVDで事故の事例を観ながら携帯電話を使用しながらの自転車運転の危険性を話してもらった。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	登下校のマナーアップ	分類	交通安全講話
取組の特徴	交通ルールを学ぶ		
学校名	大分県立日田林工高等学校		
取組の概要			
1	<p>日時 6月11日(火) 13:20～14:00</p>		
2	<p>講師 日田署交通課規制免許安全教育係長 細谷賢司 氏</p>		
3	<p>ねらい 交通法規を理解させ、安全な登下校をさせる。</p>		
4	<p>効果 アンケート結果を見ると、90%の生徒が役に立ったと回答しており、実際に日田でも自転車事故が起きていることを知り、今後の自転車通学のマナーアップや交通安全に関する意識の向上が図られた。</p>		

交通安全教育報告書

取組名	交通安全教室	分類	交通安全講話
取組の特徴	身近に起こる交通事故や命の大切さを知る		
学校名	大分県立中津東高等学校定時制		
取組の概要			
<p>1. 日時 年間3回の交通教室を通年で2回目を実施 実施日時 12月20日（金）午後6時～午後7時まで</p> <p>2. 目的 ①今年度、中津署管内や県内及び全国の交通事情・事故の概要等を知り、交通ルールを守ることの大切さを学ぶ。 ②12月より一部道路交通法の改正に伴い、軽車両の通行について正しい知識を学ぶ。 ③「命を守る」大切なことに繋がることを認識する。</p> <p>3. 内容 ①中津署交通課甲斐係長による交通事故の概要説明。 ②ドライブレコーダーの映像を視聴しての説明。 ③軽車両（特に自転車）の道路交通法改正の通行方法の説明。</p> <p>4. 効果 ドライブレコーダーの映像を見て、生徒自身が身につまされた感じを受けた。交通ルールを守ることが、命を守る大切なことであることが十分理解できたと思う。また、自転車事故による損害賠償額の膨大さなど、現実的な話が特に印象に残ったのではないと思う</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

交通安全教育報告書

取組名	交通講話	分類	交通安全講話
取組の特徴	宇佐警察署の方による交通講話		
学校名	大分県立宇佐産業科学高等学校		
取組の概要			
1. 目的	自転車のルールやマナーについて、警察の方から専門的な話をしていただき、交通安全についての知識を深めるとともに意識を高める。		
2. 日時	平成25年11月13日(水) 14:30～15:20		
3. 場所	本校体育館		
4. 対象	全校生徒および職員		
5. 講師	大分県宇佐警察所 交通課 小幡 浩 氏		
6. 内容	<p>原動機付き自転車および自転車のルールやマナーについての講話</p> <p>原動機付き自転車の免許取得試験を生徒に実際解かせ、交通ルールなどに関する講義を行った。また、社会道徳やマナーに関する話を行った。</p>		

交通安全教育報告書

取組名	警察署職員による交通安全指導	分類	交通安全講話
取組の特徴	自転車などの交通安全ルールを守る意識を高める		
学校名	明豊高等学校		
取組の概要			
<p>1 ねらい</p> <p>(1) 安全な交通の方法を理解させ、交通事故防止を図る。</p> <p>(2) 交通社会は各自の責任において、ルールを守るという交通社会人相互の信頼関係の上に成り立っていることを再認識させる。また、自らが進んで交通ルールを守ろうとする態度を身に付けさせる。</p> <p>(3) ますます激化する交通社会の中で、生きる一人の人間として、命の尊さを深く認識させる。</p> <p>2 方法</p> <p>(1) 日時 平成25年5月23日(木) 11:55～12:45 場所 本校体育館</p> <p>(2) 対象 全校生徒(明豊中学、看護専攻科生を含む 計619名)</p> <p>(3) 講師 別府警察署 交通課職員</p> <p>3 主な講話の内容</p> <p>(1) 交通ルールは必ず守らなければならないものであり、他のルールと異なり、死に直結していることを認識させ、生命尊重、交通弱者保護、互譲互助精神に基づいて制定されていることに気付かせる。</p> <p>(2) 自転車の安全走行、違反、罰則など。</p> <p>4 効果</p> <p>講話の中で、道路交通標識の実物を見て、触れることによって、その標識の意味をより深く理解できた。また、交通ルールを互いに守ることによって、我々の命は守られることを認識することができた。</p>			

高等学校交通安全教育報告書

取組名	全校生徒を対象とした交通講話	分類	交通安全講話
取組の特徴	別府警察署交通安全課課長（当日は、代理出席。）をお招きし、全校生徒を対象に交通講話を行って頂いた		
学校名	別府溝部学園高等学校		
取組の概要			
<p>1 目的 別府警察署交通課による、交通事故の現状などをお話していただくことで、高校生としての知識を深め、規則正しい交通マナーを身につけることと、道路交通法の理解をさせることを目的とする。</p> <p>2 日時 平成25年11月12日（火）13:10～14:00</p> <p>3 対象 専攻科生徒を含む、全校生徒400名。3年生看護科は、看護実習のため不在。</p> <p>4 演題 「身近に起こる交通被害を回避するために」 別府警察署 課長 代理：渡邊警部補</p> <p>5 その他 交通安全協会、(株)本田技研工業のご協力の下、自転車シュミレーター体験を実施。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	自転車交通安全DVDによる交通安全意識高揚	分類	交通安全講話
取組の特徴	指導部による各学年集会を利用した交通安全教室		
学校名	楊志館高等学校		
取組の概要			
<p>1. ねらい 自転車交通安全DVD 4 を学年集会にて学年ごとに見せ、考えさせることによって交通安全意識の高揚を図る</p> <p>2. 方法 生徒指導部によるDVDを基にした講話の展開（マニュアルあり）</p> <p>3. 取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ DVD視聴する前とした後、生徒の考えを①視聴前の考え②この映像から一人ひとりの個別の状況に対する対策③視聴後の感想・事故防止法を一項目ずつあらかじめ用意している用紙に記入させる。その後、どう考えたらよいかの指針を生徒指導部の教員が説明する ○ 特に賠償問題などを取り上げ、事故の恐ろしさの理解と同時に、事後の大変さも理解させる ○ 一方的な説明にならないように、生徒主体での思考が出来るよう方向性を持つ 			

交通安全教育報告書

取組名	交通安全講話	分類	交通安全講話
取組の特徴	外部講師を招いての講話		
学校名	藤蔭高等学校		

取組の概要

1. 日時

4月24日（水） 13:40～14:00

2. 目的

身の回りにおける危険から生命を守ることの大切さを知り、日常生活の中の安全について考える。

3. 講師

大分県日田警察署 交通課 免許規制企画係長
警部補 細谷 賢司 氏

4. 講話内容

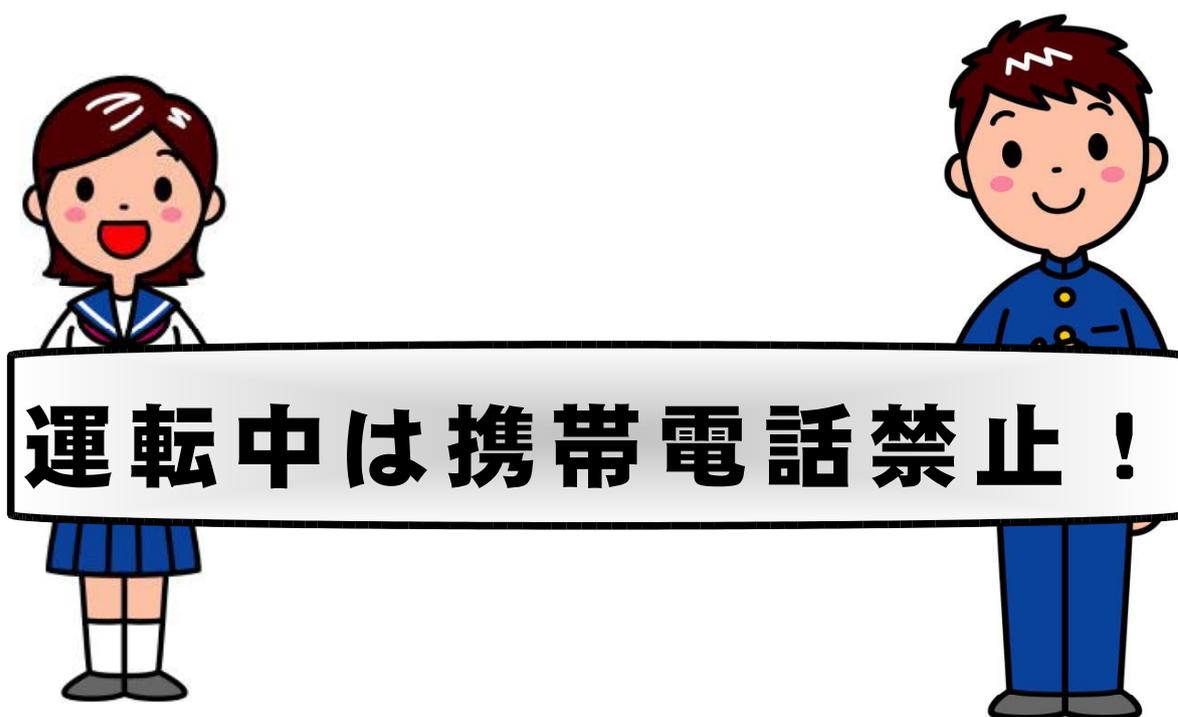
- 道路交通法の改定の内容
- 原付自転車・自転車事故の事例
- 事故防止のために必要な注意
- 原付自転車・自転車の乗車マナーについて

5. 実施後の状況

安全意識や危機回避意識を高めることができ、登下校時の乗車マナー違反も見られなかった。今後も定期的実施する予定。



生徒会活動



運転中は携帯電話禁止!

交通安全教育報告書

取組名	交通安全街頭指導	分類	生徒会活動
取組の特徴	通学路の危険箇所における交通指導		
学校名	大分県立高田高等学校		
取組の概要			
<p>1 ねらい</p> <p style="padding-left: 40px;">通学路における危険要注意箇所において、交通ルール、交通マナー（特に一旦停止や左右確認）を徹底するように指導することにより、登下校時の事故を防止する。</p> <p>2 実施期間</p> <p style="padding-left: 40px;">各学期2回（交通安全旬間中は3日間、その他1日）</p> <p>3 実施時間帯</p> <p style="padding-left: 40px;">7：40～8：00</p> <p>4 場所</p> <p style="padding-left: 40px;">①正門前 ②測書店前 ③中園楽器店前 ④志手町交差点 ⑤選果場前交差点</p> <p>5 活動内容</p> <p style="padding-left: 40px;">担当教員と各クラスの交通委員を各場所に割り振りし、一時停止や左右確認の指導を行う。 (交通安全旗や横断旗を持参する。)</p>			

交通安全教育報告書

取組名	道路交通委員の委員会活動	分類	生徒会活動
取組の特徴	道路交通委員による交通安全啓発活動		
学校名	大分県立杵築高等学校		
取組の概要			
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が主体的に交通安全啓発活動を行うことで、生徒の交通安全に対する意識の高揚を図る。 <p>2 日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月1回（年間12回） 早朝 → 交通安全の呼びかけ 昼休み → 自転車の安全点検 <p>3 方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 早朝に交通安全の呼びかけを行う。 ○ その日の昼休み自転車の車体検査を実施し、安全点検をする。 ○ 整備不良の車体については連絡を入れ整備を促す。 <p>4 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ のぼりを準備した生徒が登校時に校門での呼びかけを行うことで、交通安全への意識を可視化することができた。それにより、生徒の交通安全意識は高まっており、自転車事故が、昨年より減少している。 ○ 整備不良の自転車はほとんどなく、安全に登下校できている。 			

交通安全教育報告書

取組名	交通自治委員の委員会活動	分類	生徒会活動
取組の特徴	交通自治委員による街頭交通指導、交通安全啓発運動		
学校名	大分県立山香農業高等学校		
取組の概要			
<p>1 ねらい</p> <p>交通自治委員が主体的に校内、地域に対して交通安全啓発活動を行うことで、交通安全に対する意識の高揚をはかる。</p> <p>2 方法</p> <p>交通自治委員による年4回の街頭交通指導、交通安全啓発活動の実施。</p> <p>3 交通自治委員による街頭交通指導、交通安全啓発活動</p> <p>本校では、交通自治委員による年間4回の街頭交通指導および交通安全啓発活動を実施している。</p> <p>春・夏・秋・年末年始の全国交通安全運動期間中に合わせて3～4日間、午前7時30分から8時までの30分間主要通学路の交差点にて本校生徒に対しては街頭交通指導、挨拶（おはようございますの声かけ）の呼びかけ、地域の方々に対しては幟旗を持ち交通安全啓発運動を行っている。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	通学用自転車の車体検査	分類	生徒会活動
取組の特徴	生徒指導部自転車通学生係の教師が通学用自転車の点検を行う		
学校名	大分県立別府青山高等学校		
取組の概要			
1	<p>日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年に2回（5月、10月）実施 ○ 実施時間は、放課後 		
2	<p>ねらい</p> <p>ブレーキ、反射鏡、照明等を点検し、整備を勧めることによって、自転車通学生の安全を確保する。</p>		
3	<p>活動内容</p> <p>不備のある自転車や無届けの自転車を記録し、前者は、整備が終わり次第再検査、後者は、申し出があるまで預かる。申し出があり次第、届け出をさせ通学許可を出す。</p>		
4	<p>効果</p> <p>整備の悪い状態で事故を起こしたり、無灯火での夜間走行による危険があったなどの事例は起きていない。</p>		

交通安全教育報告書

取組名	風紀委員による自転車の整列	分類	生徒会活動
取組の特徴	生徒が行う通学用自転車の整列と挨拶運動		
学校名	大分県立大分商業高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎学期に一週間（5日間）ずつ実施 一学期・・・6/17（月）～21（金） 二学期・・・12/9（月）～13（金） ○ 実施時間は、7：50～8：15 <p>2 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 駐輪場の自転車整列をはたらきかけるとともに、ステッカーのない自転車や不良な自転車がないか等の点検も併せて実施する ○ 自転車の整列を促すことで校内の環境整備につとめるだけでなく、安全な自転車通学を意識させる ○ 同時に挨拶運動も実施する <p>3 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各クラスの風紀委員（2名）が、該当学年の自転車置き場を巡回しながら整列を呼びかけ、ステッカーのない自転車や不良な自転車を担当教員に連絡する。 ○ 風紀担当教員は不備の状況に応じて、各学年や生徒指導部と連携を図りながら改善を進める。 ○ 風紀委員から積極的に大きな声で挨拶を交わす <p>4 効果</p> <p> 生徒自身が行う活動であり、よりよい学校づくりを自主的に進める態度を育てることにつながる。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	風紀委員による通学用自転車の整備・点検	分類	生徒会活動
取組の特徴	生徒自身が行う通学用自転車の点検活動		
学校名	大分県立芸術緑丘高等学校		

取組の概要

1. 日時

- 2ヶ月に1回程度、通年で実施
- 実施時間は終礼後、15:50～16:10

2. ねらい

- 自転車通学の安全性を確保するために、ブレーキ、ライト、チェーンのゆるみを重点的に点検する。
- 届けを出した自転車を利用しているか確認するために、ステッカーの点検も行う。

3. 活動内容

- 各クラスの風紀委員（2名）が、該当クラスの自転車を点検する。自転車通学者は自転車置き場付近からライトを点灯し、坂を下り、指示した場所で急ブレーキをかける。風紀委員1名がチェーンのゆるみ等も合わせて点検し、他の風紀委員が記録する。
- 生徒指導部の交通担当の教員（3名）は、担当学年の検査に立ち会う。違反や不備の自転車所有者に改善指導をする。

4. 効果

生徒自身が行う安全走行のための点検活動であり、安全安心な学校生活の醸成に自らが協力しているという自主的な態度を育成することにつながる



10月の「自転車検査」の様子

交通安全教育報告書

取組名	交通自治委員会の活動	分類	生徒会活動
取組の特徴	大分市役所、大分東警察署と連携した交通安全啓発活動		
学校名	大分県立大分鶴崎高等学校		
取組の概要			
<p>1 ねらい 交通自治委員が主体的に交通安全啓発活動を行うことで、生徒の交通安全に対する意識を高める。</p> <p>2 活動内容 (1) 交通自治委員による登下校時の交通安全呼びかけ運動 (前期(6月)・後期(1月)各1回実施) (2) 交通自治委員長・副委員長による登校時の立哨・声かけ活動 (毎週水曜日朝7:20～7:40、別保橋交差点)</p> <p>3 取組の特徴 本校は、25年度大分市の交通安全モデル校と大分東警察署の交通安全推進校の指定を受けており、2の(1)については、三者(大分市職員、大分東警察署員、本校職員と生徒会)合同で取り組んだ。その様子は、本校HP6月14日「下校時の自転車安全利用協働広報活動」に掲載している。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	自転車マナーアップの規範意識の醸成活動	分類	生徒会活動
取組の特徴	学校全体(生徒会・部活動生徒・PTA)として取組む交通啓発活動		
学校名	大分県立情報科学高等学校		

取組の概要

1 ねらい

自転車の交通ルールの周知・マナーアップの啓発を図るとともに、自転車の安全利用および地域における駐輪場の適正利用の呼びかけや整備を積極的に行うことにより、社会の一員としての自覚を持たせ交通事故の抑止を図ることを目的とする。

2 方法

- 生徒会による自転車の車体検査を実施
 日時 5月7日(火曜)放課後(15:45~16:20)
 対象 自転車通学生徒
 場所 自転車置き場および駐車場
 内容 検査項目 ブレーキ・ライト・ベル・ステッカー・改造等
- 指導部通信により交通規範意識を醸成
- PTAの協力の下、学校正門付近において毎朝の交通指導および年間を通じて職員による放課後の交通指導を実施



交通安全教育報告書

取組名	交通委員の坂ノ市駅駐輪場の整備における整備不良等の点検	分類	生徒会活動
取組の特徴	交通委員における駐輪マナーアップの啓発活動		
学校名	大分県立大分東高等学校		

取組の概要

1 実施日時

- 平成25年11月から平成26年3月の間に2回程度実施する。
- 今回は平成25年12月6日金曜日 放課後16:00～16:45実施した。

2 ねらい

- 生徒総会における交通委員が提案した活動内容の一環として。
- 公共の場所である駅の駐輪場を整備することで、自転車の整列をはたらきかける。
- 駐輪マナー違反、整備不良、改造自転車がないかチェックを行う。
- 盗難防止のためのツーロック確認を行う。

3 活動内容

- 各クラスの交通委員（2人）が坂ノ市駅駐輪場を巡回して、指定枠をはみ出して駐輪しているものやマナー違反の駐輪をきちんと整列させていく。
- 違反者はステッカー番号を担当教員に報告、番号から持ち主を探して後日指導を行う。

4 効果

- 生徒自身が考えて実行できた活動であり、駅に駐輪する生徒の数が予想以上に多かったことに驚いていた。
- 駐輪マナーやツーロックを守れていない者が多く、参加した生徒は、啓発活動を進めていきたいと感じていたようだ。



交通安全教育報告書

取組名	交通講話ならびに交通安全の啓発活動	分類	生徒会活動
取組の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒に向けてマナーアップ講習会 ・登校時の生徒、教職員による交通安全啓発活動 		
学校名	大分県立野津高等学校		

取組の概要

1 全校生徒に向けてマナーアップ講習会

- 実施日 平成25年11月15日（金）7限
- 内容
 - ・12月より自転車に対する道路交通法改正について
 - ・地域の交通事情（通行危険区域や事故多発地域）
 - ・事故の傾向について（自転車事故等最近増加中の事故や防止策）
- ねらい
 - ・新しい道路交通法を知ること、より安全な運転をする能力を養う。
 - ・地域で事故の多発する場所を把握し注意を喚起することで、事故を未然に防止する。
 - ・交通事故の最近の傾向を知ること、事故に遭わない安全な行動を取る態度を身につけさせる。

2、交通安全啓発活動

- 毎週2回（火曜日・金曜日）登校時に生徒会を中心に実施
実施時間 7:50～8:10（20分間）
- 毎月2回（1日・20日）登校時に職員・生徒により実施
実施時間 7:50～8:10（20分間）

3、効果

- 地域の交通時事故状況等を把握することで、何げない行動が場所や時間によって事故に結びつく事を理解し、自ら注意していても事故は起こる事があることを意識させることができた。
- 生徒自ら啓発活動に取り組みせることにより、交通ルールを守り通学することができようになった。

4、自転車点検

- 自転車通学生に対して、年度初めにツーロックやブレーキ・ライト点検などの啓発活動を行った。
- 自転車通学生に対して、12月に道路交通法改正に伴う、通学路の確認を行った。



交通安全教育報告書

取組名	自転車完全左側通行への取り組み	分類	生徒会活動
取組の特徴	生徒会・PTA と協力した交通安全指導		
学校名	大分県立佐伯鶴城高等学校		

取組の概要

1 ねらい

自転車の完全左側通行への取り組みを通して、生徒の交通安全に対する意識の向上とマナーアップを図る。

2 方法

風紀委員にアンケートを依頼し、それをもとに駐輪場を決める（朝の登校時、校門前を通行しないようにするため。本校駐輪場は大きく分けて2カ所あり、それまではクラス単位で配置していた）。

また、生徒会風紀委員や保護者と協力し、交通指導を行った。

3 指導内容

- ・生徒指導部通信「凜」にて今回の方針を確認した。
- ・全校集会を開き、道路交通法の改正内容と今後の取り組みを確認。同時に交通事故の多発について注意をした。
- ・12月2日～7日の朝、生徒会風紀委員と生徒指導部職員で交通指導および駐輪指導を行った。
- ・12月2日～7日の夕方、保護者（PTA 総務）と生徒指導部職員で交通指導を行った。特に無灯火や並進について指導した。
- ・生徒指導部通信「凜」にて今回の取り組みの様子を確認した。



交通安全教育報告書

取組名	交通委員による自転車の整備・施錠点検及び校外での交通マナーの啓発活動	分類	生徒会活動
取組の特徴	交通委員会が行う通学用自転車のマナーアップおよび施錠・整備点検活動。また、佐伯市民の交通マナーの気鋭初活動等		
学校名	大分県立佐伯豊南高等学校		

取組の概要

1. 日時

- 年間を通じて、校内と校外で交互に活動（月に1～2回程度）。
- 実施時間は、校内（12：45～13：10）
校外朝の場合（7：50～8：20）
校外放課後（16：00～16：50）

2. ねらい

- 駐輪場の整備・整頓及び改造自転車の確認・施錠確認（2ロック）
- 点検を進める事によって、豊南生自身の安全性の確保。
- 本校の生徒だけではなく、地域の安全性の向上。

3. 活動内容

【校内】

- 各クラスの交通委員（2人）が、該当学年の自転車置き場を巡回し、改造自転車・無届け自転車・施錠確認等がないか記録し、交通委員長・副委員長が取りまとめて、担当教師に伝達する。（放課後該当生徒を呼び出し指導する）
- 不備の状況に応じて、学年・担任との連携を図りながら改善指導をする。

【校外】（通学路に立ち、啓発活動及び生徒が立ち入る商業施設の駐輪場等の巡回）

- 駐輪の状況や無施錠の自転車ステッカー番号を記録しておいて、後日、担当教師が該当生徒を呼び出し指導する。
- 学校前の交差点及び正門での挨拶運動・自転車マナーの啓発活動。

4. 効果

- 生徒の代表が行う点検・啓発活動であり、よりよい安全教育・交通マナーの向上を進め、問題を生徒自らが解決していく態度を育てる
- 交通委員で、駐輪場のラインを入れた結果、整列状況は良くなった。
（自クラスの出席番号順に駐車している）



交通安全教育報告書

取組名	生徒会交通委員による駐輪場における通学自転車の状況を確認する活動	分類	生徒会活動
取組の特徴	5の倍数日の登校時間帯に駐輪場にて各クラスの交通員が交通委員のオレンジベストを着用して駐輪状況や整備状況の確認し、クラス毎の駐輪状況や整備状況を記入シートに記録する。		
学校名	大分県立佐伯鶴岡高等学校		

取組の概要

(1)活動日時

- ・ 祝祭日や休日および定期考査や特別な行事などの日を除く5の倍数日
(各月の5日・10日・15日・20日・25日・30日)
- ・ 実施時間は活動日の登校時間帯(8:10～8:25)

(2)ねらい

- ・ 駐輪場での整列が整然となされ、施錠された状態で駐輪する。
- ・ 整備不良の車両を無くし、安全運転に寄与する。

(3)活動内容

- ・ 駐輪場において、各クラスの交通委員がクラスの駐輪場の駐輪状況を確認し、駐輪状態が悪い生徒に整列するよう呼び掛ける。
- ・ 改造自転車や整備不良の車両をチェックし、次回の状況を確認する日に整備されているかの確認作業を行う。
- ・ 以上の活動を総じて啓発活動も併せて行う。

(4)効果

- ・ 車両整備を呼び掛けることで、交通安全の意識を高揚させた。
- ・ 通学自転車の駐輪状況を整然とすることで、交通安全の意識を向上させる環境づくりができた。
- ・ 道路交通法の改正に伴い、自転車は軽車両であることを認識する事で、過去の自転車事故やその判例から、交通ルールを遵守する態度を涵養させた。



1. 整備状況のチェック



2. 整列の呼び掛け

交通安全教育報告書

取組名	街頭交通安全指導	分類	生徒会活動
取組の特徴	日田市内の高校5校による合同の交通安全の呼びかけ		
学校名	大分県立日田高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時 平成26年1月10日（金） 7：45～8：15 （現時点で実施予定）</p> <p>2 参加者 日田市内の高校5校の生徒会交通安全に関する委員会、担当教職員、日田警察署</p> <p>3 ねらい 警察や教職員だけでなく、生徒会の呼びかけによって、高校生の高越安全への意識をよりいっそう高め、事故の発生を防ぐことを図る。</p> <p>4 効果 通勤・通学時間帯の状況と交通マナーを生徒会の役員が実際に見、呼びかけをすることで、今後の交通安全にむけた取り組みへの動機付けにつながることを期待できる。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	ロックの日における交通マナーアップと整備不良改善の呼びかけ	分類	生徒会活動
取組の特徴	日田警察署とタイアップし、毎月15日前後を「ロックの日」と設定し、 ①自転車施錠率アップを目的としたポスター掲示 ②交通マナーアップと自転車整備不良改善の呼びかけ ③駐輪場とその周辺の美化活動 を行う		
学校名	大分県立日田三隈高等学校		
取組の概要			
<p>1. 日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月15日を「ロックの日」と設定し、駐輪場周辺にて実施。 <p>2. 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校は駐輪場が学校敷地外にあるため、①が主になっているが、ポスターを生徒が掲げながら、②の呼びかけを駅～駐輪場周辺にかけておこなっている。また美化活動を行うことで盗難等を誘発しない環境を整備している。美化活動は2週間に1回は実施している。 ・日田警察署の協力の下、無施錠の自転車をチェックし、事後指導をおこなう。 <p>3. 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施錠率が年々アップしている。施錠率アップに伴い学期に1度実施している自転車車体検査における整備不良自転車数は減ってきている。また今年度は自転車による加害、被害事故、違反は現時点で0である。つまり、施錠率アップと整備不良と事故、違反は関連性が強いと認識できる。引き続き美化活動も実施しながら、登下校の安全意識を高めていきたい。 			

交通安全教育報告書

取組名	交通安全委員会「交通安全の日」	分類	生徒会活動
取組の特徴	生徒が行う「交通安全」呼びかけ活動		
学校名	大分県立中津南高等学校		

取組の概要

1 ねらい

- 本校で多発する自転車事故等による「交通事故」を生徒自らの活動で減少させる。

2 活動内容

- 毎週、火・木曜日を「交通安全の日」と位置づけ、7時20分から7時45分の20分間、校門・東門に交通安全委員が立って生徒へ「交通安全」を呼びかけている。
- 校舎に入って、一番目立つ場所に「今月の交通事故件数」を掲示して、生徒に本校生徒の交通事故に遭った件数を知らせることで交通安全の重要さをアピールし、生徒に交通安全の意識につながることを目標に活動している。

3 効果

今年4月から交通事故件数は、9件と前年とほぼ同じで推移しているが、生徒の交通安全に対する活動は本校では活発に活動している。

まずは、生徒自らが企画し、検討を重ね、実行することに意義がある。交通安全委員会が、どうしたら生徒が交通安全のマナーを守り「交通事故」を減らすことができるかなどを放課後、話し合う様子が見受けられるようになった。もっと「委員会活動」を活発にすることで「交通安全」の意識は全生徒に広がると考えている。



交通安全教育報告書

取組名	生徒会役員および交通委員・P T A交通係による登校指導	分類	生徒会活動
取組の特徴	生徒会役員および交通委員による交通安全啓発活動		
学校名	大分県立中津南高等学校耶馬溪校		
取組の概要			
<p>1 ねらい</p> <p>生徒会役員および交通委員が主体的に交通安全啓発活動を行うことで、生徒の交通安全に対する意識の高揚を図る。</p> <p>2 方法</p> <p>生徒会役員・交通委員による交通安全の呼びかけおよび交通安全啓発ポスターづくり</p> <p>3 生徒会役員・交通委員による交通安全啓発活動</p> <p>本校では、生徒の主体性を重視し生徒会役員と交通委員による交通安全啓発活動を実施している。主な活動内容は、月に1回の登校指導に合わせて生徒会役員・交通安全委員・P T A役員・職員が正門前に立ち通学生徒への交通安全を呼びかけることや、交通安全啓発のポスターづくりをして生徒の交通安全に対する意識の高揚を図っている。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	平成25年度中津北高等学校交通指導	分類	生徒会活動
取組の特徴	教員・保護者・生徒会（役員及び各クラス風紀委員）による交通マナー啓発		
学校名	大分県立中津北高等学校		

取組の概要

1 日時

- 1ヶ月に2回程度、通年で実施
- 実施時間は 7:50～8:10

2 ねらい

- 交通マナー遵守の啓発活動
 - ・並進、二人乗り等（危険行為）禁止
 - ・雨天時の傘さし運転禁止
 - ・送迎による交通渋滞をなくす指導

3 活動内容

- 保護者（PTA総務の役員26名のうち輪番で）6名、教員5名、生徒会役員2名、風紀委員3名の計16名で、学校周辺の通学路（危険箇所）5カ所に分かれてマナー指導をする。
- 腕章やたすきを身につけて交通マナーを呼びかける。
- それぞれ指定の場所に於いて交通指導日誌（教員用・保護者用）を記入し、気づいたことなどや、注意すべき点を挙げてもらい生徒に注意喚起を促す。

4 効果

- 保護者も指導に加わる事によって生徒の交通マナーの実態が直接伝わる。
- 生徒自身による声かけにより、日頃の交通マナーについて自覚する。



交通安全教育報告書

取組名	生徒会・ルーム長あいさつ運動	分類	生徒会活動
取組の特徴	生徒会の執行部・各クラスルーム長を中心とした取組		
学校名	大分県立中津東高等学校		
取組の概要			
<p>4月15日(月)～19日(金)の7時50分からの生徒の登校時間帯に、生徒会執行部の生徒が、登校する生徒へ、朝のあいさつと交通マナーを守るよう声かけを実施。</p> <p>5月14日(火)～16日(木)の生徒登校時間帯に、朝の声かけと交通マナーの遵守を呼びかけた。</p> <p>両取り組みとも各学期に、2回程度実施した。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	交通委員の通学用自転車の整備・点検	分類	生徒会活動
取組の特徴	生徒自身が行う通学用自転車の自己点検活動		
学校名	大分県立中津東高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学期に1～2回程度実施 ○ 実施時間は、昼休み時間帯 <p>2 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 駐輪場の自転車整列をはたらきかけ、ステッカーの有無や改造自転車がないか等の点検も併せて実施する。 ○ 自転車の整備を進めることによって、自転車通学の安全性を確保する。 <p>3 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各クラスの交通委員（2人）が、該当学年の自転車置き場を巡回しながら、改造自転車、無届け自転車、ステッカーの無い自転車等を記録し、その結果を交通指導担当教員に伝える。 ○ 交通指導担当教員は、不備の状況に応じて、各学年との連携を図りながら改善指導を進めていく。 <p>4 効果</p> <p>生徒自身が行う生徒のための点検活動であり、よりよい学校生活づくりを進め、協力して問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てることにつながる。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	安全瓢箪ストラップ「まもるくん」配布	分類	生徒会活動
取組の特徴	全校生徒及び全職員で行う交通安全の呼びかけ運動		
学校名	大分県立中津東高等学校定時制		

取組の概要

1. 配布日時 平成25年12月18日(水)
午後7時30分～午後8時15分
2. 目的
交通事故防止における、安全運転の呼びかけと、生徒自身が交通ルールを守る意識の高揚に努め、地域への交通安全啓発活動の一環とする。
3. 瓢箪ストラップ
瓢箪ストラップとは、7年前より生徒が作った瓢箪を何かの形で残す方法を検討した。ストラップとして安全運転の車につけるアクセサリを造り、配布する活動を生徒会が行ったことが、現在の形に繋がっている。
以前は、生の瓢箪であったが、今は機械科鑄造実習でアルミ缶からアルミを取り出し、型に流し込み瓢箪を造る。商業科でビーズ作業を行い、ストラップの装飾をして完成させる。
4. 配布について
毎年生徒会行事として、12月の交通安全週間を利用して、全校生徒・職員で中津市内の交差点や駅のコンコースにて配布する。中津警察署や中津駅鉄道警察の協力指導を受け、250個の交通安全ストラップの配布を行う。
5. 効果
授業(機械科実習)の成果も含め生徒自ら安全運転の呼びかけを行うことで、定時制高校の活動の一環を地域の方々に認識していただくとともに、自らが交通ルールや安全運転についての規範意識を高めることに繋がる。



中津駅交番前に集合



中津駅南口にて配布



中津駅北口ロータリーにて



中津駅南口配布準備



配布終了集合

交通安全教育報告書

取組名	登校指導	分類	生徒会活動
取組の特徴	生徒による交通安全・登校指導		
学校名	大分県立中津東高等学校定時制		

取組の概要

1. 日時

平成25年7月16日(火)～7月18日(木)

午後5時00分～午後5時55分

2. 目的

- 年間通して各学期に登校指導を行い、登校状況を生徒自らが把握する。
- 登校状況を把握し、校内集会での啓発活動の資料とする。

3. 内容

- 校内生徒に呼びかけ、職員の班編制に合わせて生徒を配置して、正門での安全に登校することの呼びかけを行う。
- 自転車の並進や二人乗り・携帯使用運転などの違反行為の呼びかけを行う。

4. 効果

生徒自らが行うことで、注意しても角が立たずよかったと思う。また、生徒の実態が自分たちで把握でき、集会や生徒会からの話に利用でき、安全に登校する意識が高揚できたのではないと思う。



交通安全教育報告書

取組名	街頭交通安全指導	分類	生徒会活動
取組の特徴	月に1度、職員、交通自治委員、PTA と連携しての交通安全啓発運動		
学校名	大分県立宇佐高等学校		

取組の概要

通学路における危険地区8か所（主要交差点、見通しのよくない交差点、歩道がない直線道路、小学生との通学路が重複する場所等）において、街頭交通安全指導を行う。

下の写真は、宇佐神宮入り口交差点における交通自治委員による啓発活動の様子。



交通安全教育報告書

取組名	街頭交通指導	分類	生徒会活動
取組の特徴	交通自治委員による交通安全啓発活動		
学校名	大分県立宇佐産業科学高等学校		

取組の概要

- 1 日時
1ヶ月に1回程度、通年で実施
実施時間は7：40～8：20
- 2 ねらい
交通自治委員が街頭に立ち、交通安全啓発活動を行うことで、生徒の交通安全に対する意識の高揚を図る。
- 3 方法
交通自治委員による交通立哨を学年毎に実施。
今年度は、10月と11月のみ西部中学校と連携して取り組んだ。
- 4 交通自治委員による交通安全啓発活動
学校付近の国道沿い交差点で交通立哨を行い、通学生徒への交通安全意識の高揚を図るとともに、旗により国道を通行する車や自転車への交通安全の呼びかけを行う。



交通安全教育報告書

取組名	登校指導	分類	生徒会活動
取組の特徴	交差点では一時停止を絶対する運動を通して自転車マナーの向上を図る取組		
学校名	日本文理大学附属高等学校		

取組の概要

1 日時と場所

本校校舎前 毎日（月曜日～金曜日） 8時～8時20分
 寮生通学路 毎月2回（1日、20日） 7時30分～8時

2 ねらい

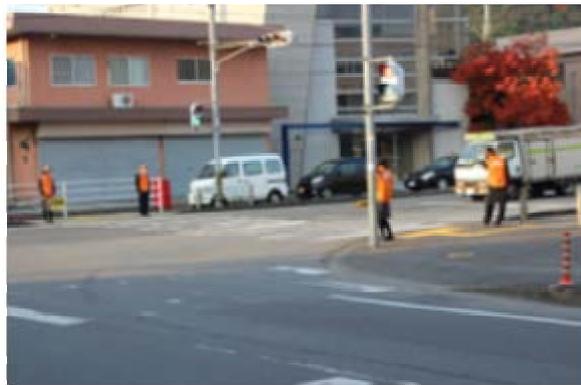
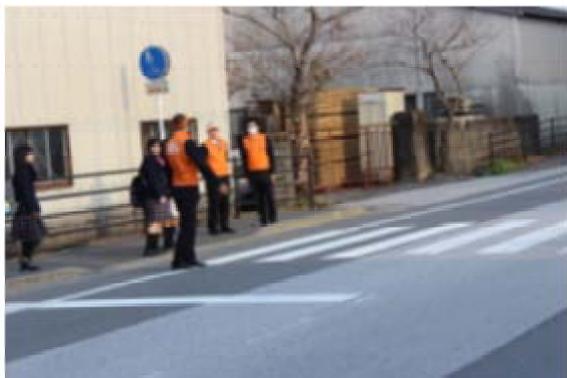
- (1) 改造自転車の有無の確認
- (2) 走行時のマナーの向上（スピードを出しすぎ、路側帯の右側走行の有無）
- (3) 横断歩道前に一時停止させ、歩いて横断する運動を推奨

3 活動内容

- (1) 本校校舎前は、風紀委員が交代（2～3名）で、交差点前に立ち、生徒と挨拶を交わし、一時停止をさせている。また、交通安全週間などは、その他の学校付近の交差点についても交通安全委員が総出で活動する。
- (2) 月2回の寮生通学路の交通安全活動については、寮生の交通安全委員が（1）と同様に寮生と挨拶を交わし、一時停止を確認させている。

4 効果

交通マナーの向上が行われ、外部からの苦情は5月以降ない。



交通安全教育報告書

取組名	明豊パトロール	分類	生徒会活動
取組の特徴	生徒会、各クラス委員による交通安全啓発活動		
学校名	明豊高等学校		
取組の概要			
<p>1 ねらい</p> <p>(1) 生徒の交通安全への意識を高める。</p> <p>(2) 自動車・自転車の運転手へ交通安全に対する注意を喚起する。</p> <p>2 活動方法</p> <p>(1) 原則として、月に2回（1日と20日）朝7時45分から8時10分</p> <p>(2) 場所は本学園周辺 正門前、正門前交差点などに分かれて立つ。（均等数に分かれる）</p> <p>(3) 参加者は、関係教職員、生徒会、各クラス委員、保護者</p> <p>(4) 参加生徒は、「たすき、横断旗、横断幕、交通安全のプレート」などを生徒会執行部から受け取る。（着用、所持して活動する）</p> <p>3 活動内容</p> <p>(1) 生徒会執行部は全日程参加</p> <p>(2) 各クラス委員（委員長、風紀、美化、保健、図書、体育）が年2回委員別に決められた日に参加する。</p> <p>(3) 交通安全指導と挨拶を行う。（通行するすべての人に挨拶をする）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生、幼稚園児の横断の際には横断旗を使用して誘導する。 ・自身の安全も考えて行う。（車道には出ない） <p>(4) 別府警察署の交通課の方と協力して活動する場合がある。 特に、7月16日には一斉交通安全登校指導を実施した（活動区域を広げて、教職員全員と警察署数名の方と一緒に）</p> <p>4 効果</p> <p>生徒が中心に行う活動であり、よりよい学校を目指し、互いに協力して交通安全に努める実践的な態度を育てることにつながる。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	通学用自転車の駐輪整備及び自転車通学マナーアップの呼びかけ	分類	生徒会活動
取組の特徴	生徒会執行部及び交通安全委員を中心とした通学用自転車の駐輪指導の実施		
学校名	大分東明高等学校		

取組の概要

- 1 日時
8：00～8：20 毎日実施している。
(ただし、定期考査等、学校行事の関係で活動を休止することがある。)
- 2 目的
 - (1) 全校生徒の約3分の2が自転車通学生であるため、限られた駐輪スペースに整然と駐輪することによって、環境整備を図る。
 - (2) ブレーキ・ライト等、通学用自転車の違反や故障の有無を確認、点検する。
 - (3) マナーアップを呼びかけ、自転車事故の防止を図る。
- 3 活動内容
 - (1) 生徒会執行部と交通安全委員会が、週番制で活動を実施する。
(本校は校舎が3つに分かれているため、それぞれの駐輪場所において、担当者が作業に当たる。)
 - (2) 自転車通学生に対して、自転車の整然とした駐輪を呼びかける。不備があれば、自転車を移動させるなどして、環境整備に努める。また、自転車通行帯、スピードの超過等にも注意を促す。
 - (3) 自転車鑑札の有無を調べ、無許可自転車には注意、指導を行うこともある。
 - (4) 交通安全委員会担当教員は活動の実施状況を把握し、違反行為があった場合には、担任教員等と共に当該生徒への指導を行う。
- 4 今後の課題
ここ数年の流行で、高校生が使用する自転車が高性能・高価格なものに変わってきている。ロードバイクやクロスバイクは一般的な自転車より速度が出やすく、事故の危険性も高まった。自転車の危険運転や迷惑走行が社会問題化している現状を鑑み、本校としても新たな取り組みを始めていかなければならないと考えている。

交通安全教育報告書

取組名	交通委員の委員会活動	分類	生徒会活動
取組の特徴	交通委員会による外部行事の際や自転車検査による交通安全啓発活動		
学校名	楊志館高等学校		
取組の概要			
<p>1. ねらい 交通委員が主体的に交通安全啓発活動を行うことで、生徒の交通安全に対する意識の高揚を図る</p> <p>2. 方法 交通委員会による外部行事の際や自転車ステッカー徹底による交通安全啓発活動の実施</p> <p>3. 取組内容</p> <p>(1) 交通委員による外部活動の際の交通安全啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現地集合が必要である外部での行事が多い本校において、生徒会交通委員会による「現地での駐輪整理」「現地周辺の交通指導」の実施 <p>(2) 交通委員による校内での交通安全啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交通委員による本校駐輪場における駐輪状態・ステッカーの確認調査の実施 ○ 自転車の不備などがないかを交通委員が点検する 			

交通安全教育報告書

取組名	交通委員による自転車車体検査	分類	生徒会活動
取組の特徴	各クラスの交通委員が車体チェック表に整備不良をチェックする		
学校名	大分国際情報高等学校		
取組の概要			
<p>1. 日時</p> <p style="margin-left: 40px;">第1回 平成25年5月28日（火）</p> <p style="margin-left: 40px;">第2回 平成25年9月 6日（金）</p> <p style="margin-left: 40px;">第3回 平成26年1月10日（金）※予定</p> <p style="margin-left: 40px;">全て15時10分より</p> <p>2. ねらい</p> <p style="margin-left: 40px;">各クラスの交通委員がブレーキ・ライト・ベルを始めとし、その他9項目をチェックし、担任へ報告する。1週間後、担任及び交通担当教員が再度チェックをし改善したかのチェックを行う。</p> <p style="margin-left: 40px;">改善されていれば通学使用を許可するが、改善されていない場合は保護者へ連絡をし直ちに改善してもらう。</p> <p>3. 活動内容</p> <p style="margin-left: 40px;">各クラスの交通委員2名でクラスの自転車通学生の自転車を、チェック表に従ってチェックを行い担任へ報告を行う。</p> <p style="margin-left: 40px;">交通委員の報告を基に整備不良の改善を図る。</p> <p>4. 効果</p> <p style="margin-left: 40px;">生徒会として活動が定着しており、最近では整備不良の自転車はほとんど無いと言ってよい。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	登下校指導	分類	生徒会活動
取組の特徴	校門に生徒会（週番生）が立ち、校内は自転車は押す呼びかけ		
学校名	大分国際情報高等学校		
取組の概要			
<p>1. 日時 毎日（定期考査中を除き、通年で行う）</p> <p>2. ねらい 本校は全て正門より登下校しており、自転車通学生と歩いての通学生が同時刻に正門をくぐるようになり、安全のため自転車は校内では押すように指導する。</p> <p>3. 活動内容 あいさつ運動と平行して正門前で自転車からは下車し、押して駐輪場まで移動するよう呼びかけ、下校時も正門までは押して出るよう呼びかける。</p> <p>4. 効果 校内で自転車通学生と歩行通学生が接触した事等は全くなく、今まで遅刻していた生徒も自転車を押して駐輪場まで移動しなければならないので、早く登校するようになった。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	登校指導	分類	生徒会活動
取組の特徴	交通委員及び教員による登校指導		
学校名	大分国際情報高等学校		
取組の概要			
<p>1. 日時</p> <p style="margin-left: 20px;">1ヶ月に1度、通年で行う。</p> <p style="margin-left: 20px;">毎月20日（休日の場合は前日）</p> <p style="margin-left: 20px;">11月は保護者参加（20名程度）</p> <p style="margin-left: 20px;">8時00分～8時20分（生徒、クラス担任教諭）</p> <p style="margin-left: 20px;">7時50分～8時30分（保護者、クラス担任教諭以外の教諭）</p> <p>2. ねらい</p> <p style="margin-left: 20px;">自転車の並列走行等の指導及び歩行者（生徒）もいるので気を配りながら通学するよう指導する。</p> <p style="margin-left: 20px;">本年度一番の指導目標はヘッドフォンをしたまま自転車通学をする生徒への指導である。</p> <p>3. 活動内容</p> <p style="margin-left: 20px;">自転車を止め、指導を行う。（生徒自身は違反である事を理解している）</p> <p>4. 効果</p> <p style="margin-left: 20px;">私たちの目の届く所では少なくなってきたが、そうでない場合はまだまだ不安である。</p> <p style="margin-left: 20px;">ヘッドフォンについての指導は引き続き行わなければならない。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	登下校時の横断歩道の安全誘導と校門指導	分類	生徒会活動
取組の特徴	朝夕の横断歩道の安全誘導と交通安全指導		
学校名	昭和学園高等学校		
取組の概要			
<p>I 日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 登校時は毎朝、生徒が登校する日は全て実施。 実施時間は、7：45～8：20 ○ 下校時は、不定期に実施。 実施時間は、15：20～16：15 <p>II 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒会の週番委員会が、学年ごとにローテーションを組み、毎朝、校門付近の横断歩道の安全誘導を行い、生徒の安全確保に努める。また、平行して挨拶指導や服装指導を行う。 ○ 横断歩道を横断する際のマナーや自転車の左側通行を徹底させ、交通安全を守る規範意識を涵養する。 <p>III 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 12月1日より、自転車の使用に対して道路交通法の改正が行われ、厳格化が実施されたが、本校の生徒は左側運転が当然のものという意識が根付いている。 ○ 本校の校門付近にある横断歩道は、通勤時間帯の交通量が非常に多く、以前から生徒の横断時の危険性はもとより、横断がスムーズに行われない場合、渋滞の原因にもなっていた。 <p style="padding-left: 2em;">この活動は始まって6年以上が経過するが、現在では、生徒の交通安全意識が向上し、地域の方からも高い評価を得ている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>自転車の横断時の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>校門指導の様子</p> </div> </div>			

交通安全教育報告書

取組名	朝の交通指導	分類	生徒会活動
取組の特徴	交通委員による交通安全啓発活動		
学校名	柳ヶ浦高等学校		

取組の概要

1. 日時

学校の交差点近く 月に1度程度

実施時間 7:50～8:25

2. ねらい

生他会を中心に交通委員と協力し、生徒一人ひとりに交通安全に対する意識の高揚を図る。

3. 活動内容

生徒会と各クラスの交通委員が協力し、登校してくる生徒に交通安全に対する声かけをする。交通に関する横断幕や幟を立てて一般の方にも見てもらう。



交通安全教育報告書

取組名	朝の挨拶運動	分類	生徒会活動
取組の特徴	生徒会による朝の挨拶運動を通して、交通マナーの向上を促す。		
学校名	柳ヶ浦高等学校		

取組の概要

1. 日時

学校正門 毎日
実施時間 8:20～8:35

2. ねらい

柳ヶ浦駅から本校までの道路（県道526号線）は登下校時、特に登校時は小学生と一緒に狭い歩道を通っており、また、一般車両の交通量も多く非常に危険である為、挨拶運動を通して交通マナーの向上を促し事故防止に努める。

3. 活動内容

生徒会による朝の挨拶運動時に、交通マナーの悪い生徒に対して注意をする。



交通安全教育報告書

取組名	YGG (柳高・がちり・ガード)	分類	生徒会活動
取組の特徴	地元警察署と連携した生徒会による交通安全啓発活動		
学校名	柳ヶ浦高等学校		

取組の概要

1. 日時

柳ヶ浦駅 学期に1度程度
実施時間 7:50～8:20

2. ねらい

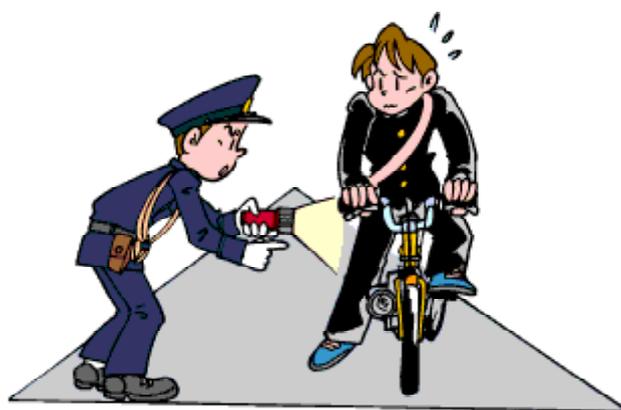
本校では列車通学生が多いので、柳ヶ浦駅で実施。
生徒会を中心に地元警察署と連携することにより、生徒一人ひとりに交通安全や防犯に対する意識の高揚を図る。

3. 活動内容

生徒会と各クラスの風紀委員それに、地元警察署に協力して頂き、一般客の迷惑にならないように注意しながら、改札口に並んで交通安全や防犯に対する声かけをし、警察署から頂いた自転車用のワイヤー錠を配布する。



全校での取組



交通安全教育報告書

取組名	自転車整備点検	分類	全校での取組
取組の特徴	生徒に自分の自転車を10m程走行させ、ライト点灯とブレーキの効き具合をチェックする		
学校名	大分県立高田高等学校		

取組の概要

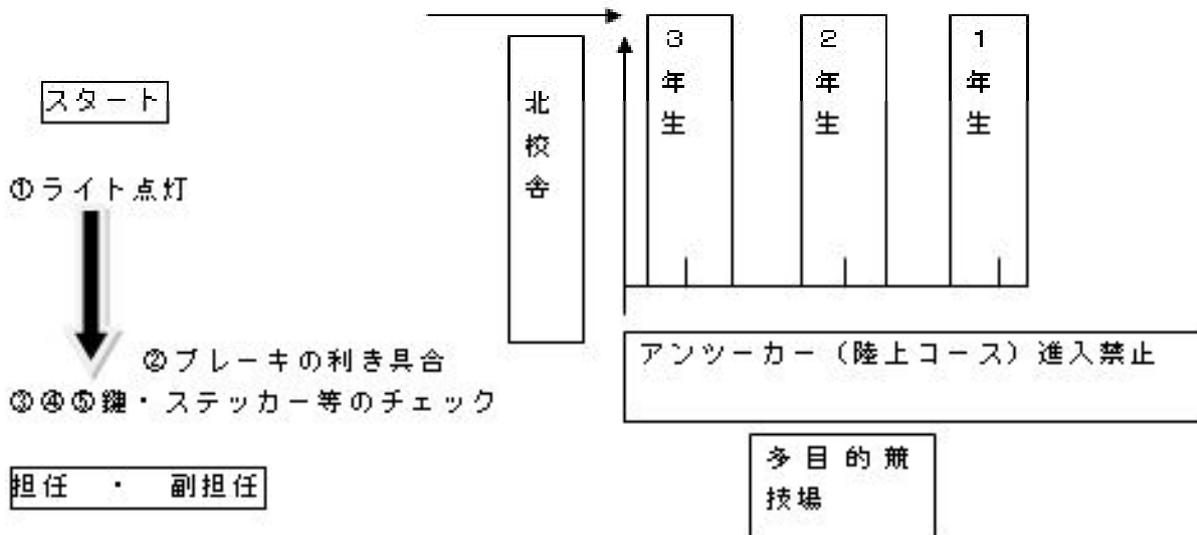
目的： 自転車通学生の安全指導の一環として、自転車の整備点検を実施する。生徒の登下校時の安全運転に対する意識付けを、自転車の整備の点からも徹底したい。

日時： 平成25年4月18日（木） 終礼後
 （予備日）平成25年4月23日（火） 終礼後

場所： グラウンド

- 指導項目：
- ① ライト点灯
 - ② ブレーキ
 - ③ 鍵の有無
 - ④ 自転車のステッカーの有無
 - ⑤ 改造の有無

検査手順： 担任、副担任で実施。（一人でもかまいません。できれば2人で。）
 所定の位置より10mほど走行する。その際、ライトの点灯とブレーキの効き具合を見る。一人当たりの所要時間は30秒。検査終了後、各自放課。整備不良、およびステッカーのない者は一週間後、担任にて再検査。再々検査は生徒指導部で対応し、合格するまで指導を続ける。検査用紙は再々検査後、指導部に提出する。



交通安全教育報告書

取組名	交通安全H R A	分類	全校での取組
取組の特徴	全学年全クラスで、交通ルール、登校経路に関する確認プリントを用いた質問形式のH R A授業		
学校名	大分県立大分舞鶴高等学校		

取組の概要

1 目的

1学期に交通講話を実施したが、それ以後も本校自転車通学生の交通事故が多発している。運転技術の未熟、危険予測し回避する力の不足、心の焦り等が起因していると考えられる。

こうした状況のもと、2学期は、交通ルールの再確認や各個人の通学路状況での再確認などを目的に、各クラスでH R A形式で、教職員も含めて、安全意識の再確認をし、生徒の交通ルール・マナーの遵守を図り、交通安全の意識をさらに高め、登下校を含めた日常生活全てにわたり、交通事故を起こさず、遭わない、心構えを醸成する。

2 対象 全学年生徒、各クラス担任・副担任

3 期日 平成25年 9月20日(金) 7限 2年全クラス
平成25年10月18日(金) 7限 1・3年全クラス

4 場所 各教室

5 内容 プレゼンテーションソフト利用、生徒B4プリント1枚(B5で4頁)

実施要領

プリントB4表裏1枚を配付し、自転車の交通安全について考えることを予告。

(1) 第1問と第2問を考えさせる。(各自で考えさせる)

※ 第2問の標識チェックは、パワーポイントで2頁を見せる。(カラー)
解説する(赤ペンで○付け、20点満点で採点させる)

※ 交差点の通行とベルについては、パワーポイントで3頁～8頁を使って解説
時間配分を考えて、口頭で説明してもよいです。

(2) 第3問を、通学路を思い出させながら、答えさせる。

個人個人の回答になるので注意する。(相談させてもよい)
(日頃、注意して通学できているのか、考えさせる材料とする)

(3) 第4問を考えさせる。

個人で考えさせる。各個人ごとの回答になるので注意する。

解説する。特に、Q1の「自転車が歩道を走行する場合、気を付けなければならないルール」と、Q3の加害者になった場合の件等補足する。

(4) 今回のLHRを終わっての感想と各自の交通安全宣言を書かせる。

※ 交通安全宣言と感想は必ず書かせること。

(5) まとめ 回収。出来てなければ、本日中に提出させる。

回収後、クラスごとに、「交通安全宣言」を入力する。

交通安全教育報告書

取組名	車体検査	分類	全校での取組
取組の特徴	通学に使用する交通機関の安全性を確認する		
学校名	大分県立大分工業高等学校定時制		
取組の概要			
<p>1. 目的</p> <p>通学に使用する交通手段毎に、車体の安全性、合法性について点検をすることにより、安全意識の啓発をはかる。</p> <p>2. 方法</p> <p>通学する際、自転車、原付、普通二輪、四輪の通学の届けを出すようになっている。学期に1回、申請通りの交通機関を利用しているか、提出書類に基づき全校一斉に点検する。</p> <p>3. 効果</p> <p>高校生の年齢では、所有について、自賠責保険、任意保険および税金についての意識が低い生徒が少なくない。また家庭でそのことについてコントロールできない場合もある。学校として通学の許可を出す場合、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①交通安全に注意をすること ②違法な改造はしない ③任意保険に入る等の条件を付けている <p>それらが守られているか、ウィンカーやライト等保安装置が完動しているか、タイヤの減り具合、空気圧、ブレーキのきき具合等検査し、不合格項目があると修理または、修正させる。</p> <p>こうすることにより安全意識が高まり、交通安全に繋がっていく。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	交通事故防止	分類	全校での取組
取組の特徴	生徒自らが、今まで自分が遭遇した危険な体験を話し合う		
学校名	大分県立大分工業高等学校定時制		
取組の概要			
<p>1. 目的 生徒自らが事故の体験を話し合うことにより、危険な事の情報共有することにより交通事故の減少を図る。</p> <p>2. 方法 今まで①自分が被害者として、②自分が加害者として、③直接目撃したこと、④同乗という形で体験したことをアンケートに採り、状況別に整理する。その資料に基づき、所有する自転車、原付や四輪の交通免許ごとにグループ分けし、その体験を話し合う。</p> <p>3. 効果 多くは3、4年生が経験の少ない1、2年生に対して彼らの体験を語るという状況になった。死亡事故があったばかりで、気持ちを風化させないよう、心の引き締めにつながった。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	通学用自転車の検査	分類	全校での取組
取組の特徴	各部（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）毎に車体検査を実施する		
学校名	大分県立爽風館高等学校		
取組の概要			
<p>1 日 時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月下旬の火曜日・水曜日・木曜日のラボの時間帯に実施 ・ 7月中旬の火曜日・水曜日・木曜日のラボの時間帯に実施 ・ 10月の4限（4時15分）終了後に数回実施 <p>2 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車体検査を実施することで、自転車通学の安全を図り、交通安全意識を高める <p>3 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月と7月は車体番号、ブレーキ、ライトなどの検査を各部2名の担当教員が自転車置き場で行い、不備があれば生徒に整備するように指導する。 ・ 10月は整備不良車やステッカー未貼付車に「警告書」を貼付する。 			

交通安全教育報告書

取組名	自転車マナー及び安全運転の意識向上に向けての活動	分類	全校での取組
取組の特徴	生徒指導部による呼びかけ、クラス掲示等による交通安全意識の高揚を図る		
学校名	岩田高等学校		
取組の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全校集会時での交通安全指導、マナーアップ等の呼びかけ ・ 「守っていますか？自転車ルールと大切な命」のクラス掲示 ・ 「自転車安全利用五則」のクラス掲示 ・ 「自転車運転のために最低限知っておくべき道路標識」のクラス掲示 ・ 学期に1回の自転車点検の実施 <ul style="list-style-type: none"> * 「道路標識」の問題をテスト形式で答えさせ、合格者（生徒の交通ルール認識を確認して）から点検を実施。 ・ 全国交通安全運動期間中（春・秋）の登下校指導 			

交通安全教育報告書

取組名	自転車点検	分類	全校での取組
取組の特徴	指導部及びPTAによる自転車車体点検及び整備依頼		
学校名	大分高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時 平成25年6月28日(金)午前中 生徒指導部5名 PTA保護者25名 5班に分けて各駐輪場にて実施</p> <p>2 ねらい 自転車の安全走行を実現するために、ブレーキ・ライト・空気圧・の点検。及び盗難防止に対するツーロックの確認を行う。</p> <p>3 活動内容 登校後に各指定駐輪場に駐輪の後施錠を解除させる。指導部とPTAが5班に分かれて点検活動を行った。点検項目はブレーキ・ライト・空気圧。併せてツーロックを日々しているかの調査を実施した。全自転車にハンドル部分に点検カードを取り付けさせ項目をチェックし良好車には点検カードを回収し不良車には点検カードをそのまま取り付け不良箇所をチェックし不良箇所を確認させた。不良車両についてはすぐに最寄りの自転車屋で整備するように指導し、全校生徒の保護者に対して点検結果の報告及び通学自転車に限らず家庭にある自転車の整備点検をお願いする文書を配布した。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	大分県交通安全県民運動参加	分類	全校での取組
取組の特徴	教職員・P T A・交通安全委員による交通安全啓発活動		
学校名	大分高等学校		
取組の概要			
<p>1 運動名称・日時 春の全国交通安全運動（4月6日(土)～4月15日(月)） 4月11日・15日 AM7:40～8:15 おおいた夏の事故ゼロ運動（7月16日(火)～7月25日(木)） 7月16日・19日 AM7:40～8:15 秋の全国交通安全運動（9月21日(土)～30日(月)） 9月24日・30日 AM7:40～8:15 おおいた年末・年始の事故ゼロ運動（12月16日～1月5日） 1月16日{予定} AM7:40～8:15</p> <p>2 ねらい 自転車左側一列走行を徹底させ、交通ルールへの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけることにより交通事故を防止することを目的とする。</p> <p>3 活動内容 正門・トキハインダストリー高尾店交差点・明野中学グラウンド裏交差点・高尾山公園内の4ヶ所で交通安全運動を実施している。正門では、交通安全啓発ののぼり・横断幕を掲げ、1年生の交通安全委員及びP T Aの方々、1学年教員で実施している。 その他の箇所は、2・3学年指導部で振り分け、交通指導に当たっている。交通安全運動と並行して自転車ステッカー点検等を行っている。</p> <p>4 効果 交通安全に対する意識が高揚した。又、交通違反に対しての校内罰則規定を多く設けたことにより外部からの苦情等が減少した。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	稲葉学園竹田南高等学校交通安全教育	分類	全校での取組
取組の特徴	学園(高校、幼稚園)全体での交通安全意識の高揚と交通安全の啓蒙		
学校名	稲葉学園竹田南高等学校		

取組の概要

○交通安全運動の期間中に、街頭指導を行う。

内容：交通安全運動の期間中、2回に分かれて早朝7：45～8：15（30分間）街頭での啓発活動をする。プラカードやタスキ、幟を持って呼びかける。また、防犯パトロックスのベストを着用して、防犯の意識も向上させる。

場所：竹田郵便局前

日程：春の交通安全運動（4／8職員4名、4／15職員3名、生徒23名）

夏の事故ゼロ運動（7／16職員3名、生徒27名、7／25職員3名）

秋の交通安全運動（9／24職員6名、生徒29名、9／27職員3名）

竹田市交通死亡事故多発非常事態宣言緊急街頭指導

（11／14職員10名、生徒21名、11／20職員9名、生徒21名）

年末年始事故ゼロ運動（12／16職員3名、生徒30名）



各学年での取組



交通安全教育報告書

取組名	単車通学生集会及び、保護者連絡会	分類	各学年での取組
取組の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・単車通学生集会（年6回＋臨時集会） ・単車通学生保護者連絡会（年1回） 		
学校名	大分県立杵築高等学校		

取組の概要

1 ねらい

- 交通事故・交通違反防止のための注意喚起を行い、生徒の交通安全に対する意識高揚を図る。保護者にも協力を依頼して生徒の安全を確保する。

2 日程

- 単車通学生集会（各学期の初めと終わり、及び必要に応じて）
- 単車通学生保護者連絡会（PTA総会時）

3 効果

- 「交通マナー」は、自己の安全のみならず他者の安心・安全につながることを理解させ、自己管理能力と他者への配慮を身につけることができた。
- 正しい単車の乗り方を理解し、「交通マナー」が日常的に実行できるようになった。
- 親子で単車通学に対する交通安全の意識を再確認できた。
- 保護者を含めた安全に対する意識の共通認識で、交通安全意識を高めることができた。

《単車通学生への注意》

1. 単車通学は、通学が不便、または部活動練習のために、特別に許可されたものである。したがって、長期の休暇中やその他の休日は、特別に学校の許可がない限り使用しないこと。
2. 登下校時の安全運転については、機会あるごとに注意しているところであるが、一旦停止義務違反やスピード違反等で警察に検挙される者、転倒・接触事故でケガをする者等、大事故に至らないまでもそれに近い違反や事故が例年起きている。「反則金を払えばいい」「治療代や慰謝料を払えばいい」という安易な考えではなく、校外においても杵高生としての自覚と責任を持ち、違反や事故を起こさないよう心掛けること。なお、もし大事故を起こしてしまえば、加害者・被害者を問わず一生取り返しのつかない状況になることを常に念頭において運転すること。
3. 登下校時に単車を使用する場合は、常に安全運転に心がけ、「自分を大切に」「事故にあわない、あわせない」よう細心の注意をはらうこと。そのため、次の事項を必ず守ること。
 - (ア) 人命の尊さを今一度考えること。いのちにスペアはない。
 - (イ) 交通規則を理解し、守る心が大切である。
 - (ウ) 注意力を持ち、運転に専念すること。
 - (エ) 「～ないだろう運転」をせず、「～かもしれない運転」をすること。
 - (オ) 心身の状態をいつも良好に保った状態でハンドルを握ること。
 - (カ) 運転技能を過信しないこと。
 - (キ) 安全速度を守る（とまれの表示は必ず守り、徐行すべき所は必ず徐行をすること）。また、見通しのよくない道路や狭い道路、横断歩道、人通りの多い場所、交差点、裏通り、住宅地、歩行者や自転車のそばを通行する時、雨天の場合、道路凍結時等は特に注意すること。
 - (ク) 危険行為の禁止、スピード違反、暴走運転、一旦停止違反、わき見運転、信号無視、急発進、急ブレーキ、徐行違反、二人乗り、肩貸し等の自転車との並進、ヘッドホンステレオを聞きながらの運転等々。

交通安全教育報告書

取組名	「交通安全キャンペーン」	分類	各学年での取組
取組の特徴	10年以上、本校が学校行事の一環として取り組んでいる「キャンペーン」である。生徒は、毎年経験することにより交通安全に関する意識も高まっている。		
学校名	大分県立由布高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時</p> <p>○1学期（3年） 5月21日～24日 2学期（1年） 9月24日～26日 （2年）12月17日～20日（予定）のクラスごとで年間12日間実施。</p> <p>○実施時間 7：50～8：15</p> <p>2 ねらい</p> <p>学校沿線（210号線）でドライバーに対して交通安全の意識を高めてもらうと共に、生徒自身も社会の構成メンバーの一員として交通安全に対する考え方を学び交通事故防止の徹底を図る。</p> <p>3 活動内容</p> <p>○ クラス全員とクラス主任・クラス副主任・学年主任で啓発活動を行う。 ○ 生徒は、タスキと幟と横断幕をもちドライバーに対して交通安全運転を呼びかける。 ○ 生徒は、歩道にて実施し、210号線の学校側車線のみとする。教員は、生徒の安全を配慮（注意）し、車道には絶対出さない。</p> <p>4 効果</p> <p>学校沿線（210号線）でドライバーに対して交通安全の意識を高めてもらう取り組みにより、将来、生徒一人一人がドライバーとなったときに、社会の構成メンバーの一員として交通安全に留意し、交通事故を起こさない運転が出来るように考えさせる。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	交通安全教室	分類	各学年での取組
取組の特徴	ビデオ放映視聴による交通安全教室		
学校名	大分高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時 平成25年7月18日(木) 3・4限目</p> <p>2 ねらい 自転車事故の現状を理解させ交通ルールの遵守と交通マナーの実践を習慣付けさせる。歩行者保護の重要性を認識させると同時に加害者になった場合にどれだけの賠償金が発生するかなど事故の怖さを再認識させる。</p> <p>3 活動内容 ビデオ放映の前に事故の現状これまでに起きた自転車事故に関する賠償責任等を放送で伝達し、約20分の自転車走行マナー自転車事故の実例ビデオを視聴させた。 4限目にはそれぞれ交通に関する標語の作成。各担任による独自の交通安全教室を実施した。</p> <p>4 効果 子供や年寄りなどを交通事故に巻き込まない安全走行の実現に生徒一人一人が意識する心を育てる。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	オリエンテーション	分類	各学年での取組
取組の特徴	通学路の確認をしよう		
学校名	大分国際情報高等学校		
取組の概要			
<p>1. 日時 平成25年4月10日（水） 3限目（10時40分～11時30分）</p> <p>2. ねらい 前日までに通学コース（どの道）を通るのか提出させていたものを用いて危険な場所を特定させ、コースを変更するよう指導し、安全確認をさせる。 自転車車体チェック表に必要事項を記入させ、自転車の整備を常に行っておくことを促す。</p> <p>3. 活動内容 指導部と連絡を取り生徒にとって安心・安全な通学路を指示する。 生徒より道路情報を収集し、それに応じて通学路を指示する。</p> <p>4. 効果 自転車による事故は入学当初の1年生に多いのだが、今までに入院を伴うような大きな事故は発生していない。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	自分を守る歩行技術の向上	分類	各学年での取組
取組の特徴	年齢に応じた歩行技術の向上		
学校名	大分県立盲学校		

取組の概要

1. ねらい

歩行技術を向上させ視覚障がい者の単独行動範囲を広げる

2. 活動内容

- ・ 自立活動の一環としての歩行訓練（幼小、高等部）
- ・ 放課後の帰宅行程を利用した歩行訓練（中、高等部）

3. 取り組みの特徴

幼小、中学部の児童生徒の登下校は保護者が自動車で送迎しているが、児童生徒が単独で行動できるように、自立活動や下校時間を利用して歩行訓練と交通安全指導を行っている。

小学部の児童は点字ブロックの見分け方、メロディ信号の聞き分け方等の基本的な項目から緊急時に素速く反応できる姿勢などを習得し、中学部の生徒は下校時間を利用して単独でバスに乗る方法など、さらに、高等部では単独での帰省、買い物などを通して訓練と安全指導を行っている。

歩行訓練と交通安全指導の様子



地域等と 連携した取組



交通安全教育報告書

取組名	本校職員とPTA生活委員と行う交通指導	分類	地域等と連携した取組
取組の特徴	本校職員とPTA生活委員と行う交通指導		
学校名	大分県立大分雄城台高等学校		

取組の概要

1 日時

- 毎月1回、PTA生活委員と通年で実施
- 実施時間は、7:00～7:45

2 ねらい

- 交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

3 活動内容

- それぞれの指導ポイント（3ポイント）に本校職員2～3名、そのうち1ポイントにPTA生活委員を2名配置する。
- 危険行為（イヤホンで音楽を聴きながら運転、傘さし運転、二人乗り等）、無許可自転車（ステッカー添付の有無～、指定された通学路の通行、交通ルール・マナーを指導する。

4 効果

PTA生活委員を参加させることにより、登校時の交通マナーの状況を見てもらうことができた。また、その場で指導することにより生徒たちも交通安全意識を高めることができた。



交通安全教育報告書

取組名	敷戸駅マナーUP (交通マナー含む) キャンペーン	分類	地域等と連携した取組
取組の特徴	生徒自身が行う啓発活動。また、地域・関係機関と連絡を取り合い協力的に交通啓発活動を行う。		
学校名	大分県立大分工業高等学校		

取組の概要

- 1 日時 毎月2～3回程度（7：20～8：10）
- 2 実施場所 JR敷戸駅周辺
- 3 目的
 - ・敷戸駅の駐輪場整理や施錠確認を行う。また、駅利用者に対する交通マナー啓発運動を実施する。
 - ・本年度、大分南警察署及び大分市都市交通対策課から交通マナーUP校に指定されており、それらの機関と協力して取り組む。
- 4 実施内容 本校生徒の敷戸駅利用者は毎年100名を超えるため、駅の整備及び利用マナー、交通マナー向上を目的に以下の取組を行っている。
 - ① 警察・市役所の協力のもと、のぼり旗を持って、利用・交通マナーアップを呼び掛ける
 - ② 駐輪場の巡回指導及び自転車整理
 - ③ 駅周辺の国道10号線で交通マナーUP向上啓発活動
- 5 参加者 【本校】特別活動担当教員、生徒会執行部、クラス自治委員
【関係機関】警察官、市役所職員、地域ボランティア（老人会）
- 6 活動写真

通行人に交通啓発パンフレット配布(1)



通行人に交通啓発パンフレット配布(2)



駅駐輪場内の整理(1)



駅駐輪場内の整理(2)



関係機関と協力した活動(1)



関係機関と協力した活動(2)



交通安全教育報告書

取組名	交通安全指導	分類	地域等と連携した取組
取組の特徴	教員・生徒会・PTAが連携して行う、登校時の交通安全指導		
学校名	大分県立臼杵高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月1回、通年で実施 ○ 実施時間は、7：45～8：05（20分間） 生徒指導部の教員は、7：30から指導する。 <p>2 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が安全に登校できるようにする。 ○ 近隣中学校・小学校と通学路が重なるので、お互いに譲り合いの精神を養うようにする。 ○ 気持ちよい挨拶ができるようにする。 <p>3 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重点ポイント6カ所に、教員・生徒会・PTA役員が巡回指導し、注意点を記録して生徒指導部が情報収集する。その情報を元に審議し、その対応策を考えて、改善すべき点は早急にその対応をする。 ○ 近隣中学校・小学校の方々と情報交換をする。その情報を元に審議し、その対応策を考えて、改善すべき点は早急にその対応をする。 ○ 地域住民の方々との交流を図り、開かれた学校作りの一翼を担う。 			

交通安全教育報告書

取組名	地域と連携した交通安全運動	分類	地域等と連携した取組
取組の特徴	残り37名となった生徒全員による交通安全運動への取り組み		
学校名	大分県立臼杵商業高等学校		

取組の概要

1 ねらい

生徒自ら主体的に交通安全運動に参加することにより、交通安全を啓発する立場で日常の安全に取り組む。

2 活動内容

- ・夏、秋、年末年始の3回の事故ゼロ運動に参加するため、運動初日に学校近所の交差点へ全校生徒と全職員で立ち、地域へ交通安全を呼びかけた。
- ・6月5日（水）に臼杵津久見警察署の交通安全課長を招聘し、定例の交通安全講話を実施した。
- ・地域の交通安全協会の方に駐輪場まで来ていただき、自転車の車体検査およびツーロックの確認をしていただき、校門で生徒へ交通安全を呼びかけた。
- ・8月3日（土）に地元商店街で販売実習をする生徒が、臼杵津久見警察署の交通安全課・生活安全課と共同でチラシを配り、交通安全の啓発をした。
- ・12月11日（水）地元駐在所の警察官に、改正された道交法の自転車に関する部分の説明と、これから自動車学校へ入校する生徒が多数いるため、無免許運転や飲酒運転を絶対しないように特別授業を実施した。

12月11日 特別授業



12月16日 年末年始事故ゼロ運動



交通安全教育報告書

取組名	竹田市交通安全フェスタへの参加	分類	地域等と連携した取組
取組の特徴	地域主催の行事に生徒と教職員が参加し、啓発活動を深化する		
学校名	大分県立竹田高等学校		

取組の概要

1. 目的
 - ① 地域主催の交通安全行事に参加することにより、自らの安全意識の高揚と社会の一員として地域貢献に寄与する態度を養う。
 - ② 本校の生徒会交通安全委員長が竹田市民全体を代表して、「交通安全宣言」を読み上げる。
2. 日時 平成25年7月7日（日） 9：00～
3. 場所 竹田市玉来「サンリブ竹田店」駐車場

交通安全の誓い

私たち竹田市民一人ひとり、自他の尊い命や幸せな生活を交通事故によって失わない・奪わないよう、交通法令・交通ルールを守ります。

運転者であるときも、歩行者であるときも思いやり・ゆずりあいの心を常に持ち、特にお年寄りや小さな子どもたちをみんなで交通事故から守ります。

交通死亡事故ゼロ1,000日達成の自覚と誇りを持ってこれからも、「おこさず あわず 事故ゼロ」の竹田市とすることを誓います。

平成25年7月7日 竹田市民代表 大分県立竹田高等学校 交通安全委員長



《交通安全宣言》



《取材に応じる委員長》



《参加賞は地元の作物》



《マスコットキャラクターと》



《将来は白バイ隊員！》

交通安全教育報告書

取組名	P T Aあいさつ運動	分類	地域等と連携した取組
取組の特徴	交通安全運動にのみ特化した取り組みではないが、登校時の現状がつかめ、問題点を生徒にフィードバックすることができる		
学校名	大分県立森高等学校		
取組の概要			
<p>1 ねらい さわやかで元気の良い挨拶を生徒・職員・P T Aが一体となって行う。 服装整備の徹底と登校中のマナー指導を行い、規範意識の高揚を図る。</p> <p>2 実施時期 6月と10月に1週間</p> <p>3 実施方法 職員・生徒（風紀委員）・学校近隣の保護者は、学校周辺の通学路であいさつ運動を行うとともに、生徒の通学状況の観察・指導を実施する。 学校から遠距離の保護者は、利用駅でのあいさつ運動及び、マナー指導を実施する。 その後、P T A 理事会などの場において、状況の報告、問題点の検討を進めていく。</p> <p>4 効果 駅関係者からは、生徒のマナーが良くなってきたとの報告を受けている。 また、列車への駆け込み乗車等の情報もつかめ、余裕を持って家を出ることなど、生活を通しての事故防止の指導に役立っている。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	ふれあい登校指導	分類	地域等と連携した取組
取組の特徴	交通安全啓発活動		
学校名	大分県立日田林工高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時 毎月第2火曜日 7:50～8:20</p> <p>2 場所 校門、豆田町、日田駅、光岡駅、咸宜小前歩車分離式交差点</p> <p>3 ねらい 登校時の交通安全を図る。</p> <p>4 活動内容 生徒会、教員、PTA役員と協力して挨拶だけにとどまらず、声かけによる通学生のマナーアップや交通安全（携帯電話・ヘッドホン・並進・雨天時の傘差し運転の禁止）を図る。特に今年度から咸宜小前の交差点が歩車分離式に変更されたので、ルールの徹底と小学生の集団登校の安全を図るために、第2火曜日以外にも毎月1週間生徒指導部と生徒会で重点的に立哨した。</p> <p>5 効果 地域からの苦情も減少し、マナーアップが図れている。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	P T A指導部登校観察	分類	地域等と連携した取組
取組の特徴	保護者・教員が行う「交通安全」への呼びかけ活動		
学校名	大分県立中津南高等学校		

取組の概要

1 ねらい

- 本校生の自転車運転マナーの向上を図る。
- P T A役員に生徒の登校状況を確認してもらい、P T A 総会等で状況報告などを通じて交通安全につなげる。

2 活動内容

- P T Aと生徒指導部・総務部による「登校観察指導」を中津市内6ヶ所、宇佐市内1ヶ所の計7ヶ所に立って生徒の交通マナー等を観察するものであり、年5回実施している。

3 効果

保護者に本校生徒の交通マナーの実態を知ってもらうことに意義があると考えている。

また、P T A活動の中で「なぜ、生徒が交通事故に遭っているか」などを協議してもらうことで、少しでも交通事故を減少させることができると思う。



交通安全教育報告書

取組名	朝の交通安全運動	分類	地域等と連携した取組
取組の特徴	登校してくる生徒の自転車の乗り方、イヤホン等をしていないかを確認・注意をする		
学校名	別府市立別府商業高等学校		
取組の概要			
<p>1. 日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎週月・水・金曜日、通年で実施 ○ 実施時間は、8：00～8：25 <p>2. ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 登校時、下り坂を自転車で下って来る生徒と、送迎の車で正門付近が危険なので、自転車のスピード減速、左側通行を注意指導している。 ○ 自転車通学・徒歩での通学の生徒に対し、イヤホンで音楽を聴いていたり、携帯を操作しながら登校してくる生徒に注意指導している。 <p>3. 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 月曜日は保護者に参加してもらい、水、金曜日は教員3人が正門に立ち、登校して来る生徒に対して声掛けおよび注意・安全指導を行っている。また、不定期ではあるが生徒会役員も自主参加で、声掛けをしている。 <p>4. 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 校門付近でスピードを落とすなど、安全に対する意識が徐々に高まっている。 ○ 遅刻してくる生徒は極めて少なく、余裕のある登校となっている。 			

交通安全教育報告書

取組名	毎月2回(1日・20日)の全教員による登校指導	分類	地域等と連携した取組
取組の特徴	地域の交通安全啓発活動日に合わせ、全職員による登校指導を上人地区、亀川地区、別府駅等で実施		
学校名	別府溝部学園高等学校		

取組の概要

1 目的

登校時における生徒の服装や頭髪、および交通安全に関して出迎え指導を行う。また、学校の指導活動を周辺地域へアピールする機会でもあるとも考えている。

登校時の自転車マナーや車との接触事故等防止のため、別府地区の交通安全指導日に合わせて全教員で実施をしている。

2 方法

全教員を学校周辺(亀川地区)や最寄駅(亀川)、近隣小中学校区(上人地区)、別府駅や鉄輪地区のバス停等、広範囲に渡り配置し、幅広く生徒の指導にあたっている。前日等に、ホームルーム等での事前指導も合わせて実施。

当日は、地域の交通指導員や、自治会の方々も多く街頭に立って頂いているため、挨拶の徹底も十分に指導している。

時間は、ホームルーム担任が7:45~8:05まで。その他の教員は、8:20まで、校外での指導を行う。

また、生徒会役員の生徒が、国道沿いに交通安全を啓発する横断幕をもち、教員と共に啓発活動に取り組んでいる。

3 効果

気になった事項について、報告書にまとめ、全教員に配付し、ホームルーム等での指導に役立てている。

地域の指導員との情報交換の場としても機能しており、学校への理解を深めて頂ける機会にもなっている。

生徒も、交通安全に配慮した登校ができるようになってきており、歩行者の右側通行の徹底、自転車の並列走行等も、確実に減少してきている。

交通安全教育報告書

取組名	日田地区高校生防犯・交通安全連絡会（防犯・交通サミット）	分類	地域等と連携した取組
取組の特徴	日田市内の高校生が交通マナーや自転車施錠について議論を行う		
学校名	藤蔭高等学校		

取組の概要

1. 日時

6月20日（木） 16:00～

2. 目的

毎年、交通重大事故が全国的に発生し、交通安全やマナーアップに対する市民の意識が高まってきている。日田地区では高校生防犯・交通安全連絡会を半年に1回（前期・後期）行い、防犯・交通安全に努める。

3. 活動内容

- 日田地区の防犯・交通の現状
- 前年度の取組・反省と今年度前期の取組・方針（鍵かけ甲子園中の取り組み・方針）
- 日田地区高校生の重点目標について
- 鍵かけ甲子園実施要領発表



その他の取組



交通安全教育報告書

取組名	年間を通した交通安全教育	分類	その他の取組
取組の特徴	年間を通して計画的に行う交通安全教育活動		
学校名	大分県立国東高等学校		
取組の概要			
<p>1 指導の概要</p> <p>年間を通して本校では、交通安全教育・指導を計画的に行っている。本校独自の活動とは言えないが、ある一定の効果は表れていると考える。</p> <p>また、生徒が参加する活動内容もあり、生徒自ら交通安全について考えるよい機会にもなっている。</p> <p>2 指導内容</p> <p>① 登校交通安全指導（毎月20日）</p> <p>登校指導（交通安全）を実施し、その後、通学状況等に関する報告書を提出してもらおう。特に注意する点があれば、職員会議で報告し、注意徹底を図る。</p> <p>② 自転車車体検査（年2回）</p> <p>主・副担任によって放課後を使って、一斉に違反状況はないかの検査を実施する。違反車があれば、その場でチェックし、指導を行う。</p> <p>③ 下校交通安全指導（学期1回）</p> <p>下校時に交通安全指導を実施する。自転車については、止めて注意指導はできるが、バイクに関しては、走行を止めて指導することはできないので、状況を確認し、その後職員会議などで報告する。場合によっては、バイク通学生集会を実施し、注意喚起する。</p> <p>④ 交通安全講話教室</p> <p>国東警察署・本田技研工業株式会社安全普及本部の方々に依頼し、講話と実技を交えて自転車走行における安全教室を実施する。</p> <p>⑤ バイク通学生集会（適時）</p> <p>バイク通学での違反行為や事故など発生した際、その都度、バイク通学生集会を実施する。</p> <p>⑥ バイク交通安全実技講習会（11月）</p> <p>国東自動車学校の協力で、バイク運転の実技講習会を実施している。毎年60名近くの生徒が参加し、正しいバイクの運転を身につけている。その際に、違反バイクはないか検査も行う。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	登校指導・交通指導	分類	その他の取組
取組の特徴	全職員の輪番による市内3ヶ所での登校指導		
学校名	大分県立杵築高等学校		

取組の概要

1 ねらい

- 交通安全意識を高め、交通ルール、交通マナーを遵守させる。
- 気持ちの良いあいさつを心がけさせる。

2 日時

- 毎日 7:25 ~ 7:50

3 場所

- 宗近中学校前の交差点
- 杵築駅横の通学路
- 中平門（裏門）の3ヶ所



4 指導事項

- ① 自転車の並進注意
- ② 車両用の信号を守る
- ③ 追い越し禁止
- ④ 自転車は左、歩行者は右
- ⑤ 通学マナー、挨拶
- ⑥ 身だしなみ

5 効果

- 昨年度頻繁にあった杵築駅からの細い路地上での苦情連絡がなくなった。現在、生徒は杵築駅から八坂小学校前までの間、きちんと一列で通学し、信号においても一列での待機を守っている。
- 中学校前の信号において、高校生の自転車通学生が赤信号を止まらないとの苦情連絡を受け、実施している。同時に自転車のルールについて教室掲示や呼びかけを行い、登校指導とともに徹底を図った。
- 登校指導を行う際に、朝の挨拶運動も同時に行い、地域の方に進んで挨拶を行う姿勢も構築された。
- 中学校との連携も図れている。

交通安全教育報告書

取組名	交通安全啓発活動	分類	その他の取組
取組の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導部通信「真摯」の発行 ・無事故無違反の掲示板の設置 		
学校名	大分県立杵築高等学校		

取組の概要

1 ねらい

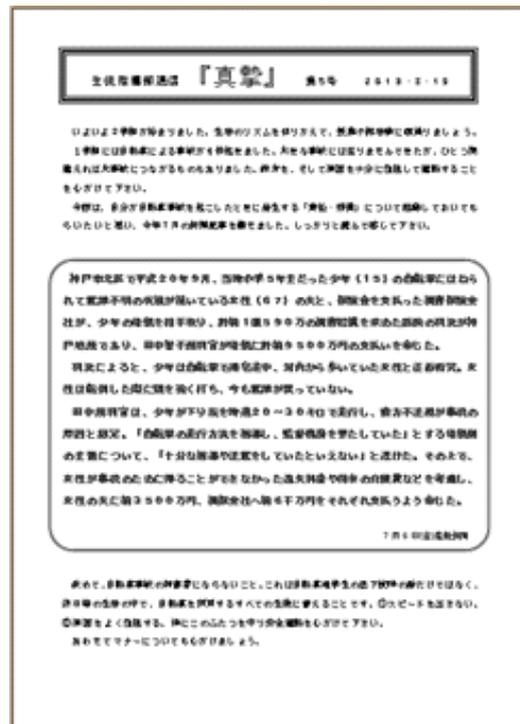
- 交通事故・交通違反防止のための注意喚起を行い、生徒の交通安全に対する意識高揚を図る。

2 方法

- 生徒指導部による生徒指導部通信「真摯」を発行。
生活指導や交通安全に関しての情報や注意事項を連絡し、生徒の交通安全に対する意識の高揚を図る。
- 無事故無違反掲示板の設置。
無事故無違反について自分たちで意識させるため、掲示板を昇降口に設置し、実際の日数を掲示することにより生徒意識の高揚を図る。

3 効果

- 「真摯」については欲張らず内容を精選し、字数を少なくすることで、生徒が読んでくれるようになった。今後もポイントを絞って読んでみようと思う生徒指導部通信にしていきたい。
- 生徒の会話の中に掲示板について話題に上がることもあるようで、気にとめている生徒も多い。有効活用していきたい。



交通安全教育報告書

取組名	部活動臨時集会及び特別登校指導	分類	その他の取組
取組の特徴	部員が交通ルール違反をした部が全員参加		
学校名	大分県立大分豊府高等学校		
取組の概要			
<p>1 ねらい</p> <p>① 本校は自動車過密地域にあり、交通事故が多い。(平成24年度30件)</p> <p>② 9割の生徒が部に所属しているなど部活動が盛んである。</p> <p>③ 交通ルール遵守精神を育てる。</p> <p>④ 部活動生は帰宅時間が遅く交通事故に遭う可能性が高いので、安全意識の高揚を目指す。</p> <p>2 方法</p> <p>① 交差点を横切るなど交通ルール違反を犯した部を対象に実施する。</p> <p>② 違反発覚後に放課後、対象部全員に臨時集会を実施し、生徒指導主任より説諭する。(貴重な練習時間がなくなる)</p> <p>③ 早朝(7:15~7:40)に登校指導を実施し、全校生徒に交通安全を呼びかける。(他の部活動生に対して、多大な効果が見られる)</p> <p>3 効果</p> <p>① 部員が部のために行動するなど、部の結束力を高める。</p> <p>② 交通ルール遵守精神が涵養できる。</p> <p>③ 交通事故が減少した。(今年度14件、昨年同期28件)</p>			

交通安全教育報告書

取組名	登下校指導	分類	その他の取組
取組の特徴	教職員による登下校指導		
学校名	大分県立三重総合高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1ヶ月に6回登校指導を行っている。 1ヶ月に6回下校指導を行っている。 ○ 実施時間 7時20分から7時50分までの30分間 <p>2 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 徒歩で通学する生徒と自転車で通学する生徒の安全確保がねらいである。 ○ 交通安全教育にとどまらず、気持ちのよい挨拶ができるようになってもらいたいという願いもある。 <p>3 活動内容</p> <p>(登校指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 三重町駅・三重タクシー前・商店街入口・市場ロータリー・ローソン前・肝煎交差点の6カ所に教職員が1名ずつ立ち、指導している。 ○ 横に広がって歩いていないか・歩き携帯はないか・指定された通学路を通っているか等をチェックして指導している。 ○ 自転車については交通ルールを守って、所定の通行区分を守れているか等をチェックして指導している。 <p>(下校指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校周辺を中心に巡回指導を当番の教職員が2名で行っている。 <p>4 効果</p> <p>学校周辺において交通事故の報告もなく、生徒の安全が確保されている。今後は、本校生徒が地域の方から好感が持たれるように成長することを期待している。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	車体検査（バイク）	分類	その他の取組
取組の特徴	通学用バイクの定期点検		
学校名	大分県立日田林工高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時 夏季休業中</p> <p>2 ねらい バイクの定期点検を受けることにより、登下校の安全性を確保する。</p> <p>3 活動内容 夏期休業中を利用して、バイク通学を許可されている生徒は、業者でバイクの定期点検を受け、報告書（学校所定の用紙）を生徒指導部に提出する。</p> <p>4 効果 整備・点検の意義を理解し、安全運転の意識が高まる。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	車体検査（自転車）	分類	その他の取組
取組の特徴	生徒自身が行う通学用自転車の自己点検		
学校名	大分県立日田林工高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時 5月14日(火) 中間考査第一日</p> <p>2 ねらい 自転車の整備を進めることにより、登下校の安全性を確保する。</p> <p>3 活動内容 終礼後、担任・副担任立ち会いの下、生徒一人一人が自転車のブレーキおよびライトの点検を受ける。不備があるものについては、整備終了次第担任に報告し再点検を受ける。</p> <p>4 効果 自分の身は自分で守る意識を養う。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	生徒指導部の教員による自転車の安全点検	分類	その他の取組
取組の特徴	年度はじめに自転車通学生を対象に、点検項目を設定し、自転車の車両点検を行う。今後は、学期ごとの定期点検を行っていく予定		
学校名	別府溝部学園高等学校		
取組の概要			
<p>1 目的</p> <p>年度はじめ、自転車通学生を対象に、車両点検を実施する。点検項目を設け、自転車通学生が1年間、安全な走行ができるよう確認を行う。</p> <p>2 方法</p> <p>他県の実践校などを参考に、ブレーキ・ハンドル・ライト・サドル等、点検項目に従って、生徒指導部の教員により、詳細に点検を行う。</p> <p>それ以降も、昼休み等に定期的に駐輪場を見回り、整備不良の車両があれば、生徒指導部で車両を預かり、生徒に事情を尋ねるようにしている。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	定期考査中の教職員による下校指導	分類	その他の取組
取組の特徴	各定期考査中、早い時間に下校する生徒に対して、生徒の安全を確保するために、教員で分担し、下校指導を行っている		
学校名	別府溝部学園高等学校		
取組の概要			
<p>1 目的</p> <p>各定期考査の下校時、通常より早い時間に下校する生徒の安全確保および危険防止のために交通指導を行い、生徒が充実した家庭学習を行うことができるよう、指導をおこなっている。</p> <p>下校中の公共機関等でのマナーや、事故や事件（不審者等）の防止も目的としている。</p> <p>2 方法</p> <p>生徒指導部が、全教員を学校周辺の4～5ヶ所に割り振りをし、気になった事項について、報告を受ける。</p> <p>翌日、報告書を全教員に配付し、即時の指導に役立てている。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	登下校交通指導	分類	その他の取組
取組の特徴	指導部及び副担任による登下校交通指導		
学校名	大分高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時 月曜日～金曜日までの毎日正門にて実施 (朝) 7:45～8:15 (放課後) 15:35～16:00 指導部と副担任で4人を1チームとして登下校の交通指導を実施。</p> <p>2 ねらい 登校時においては小・中学生との接触事故等を回避するための走行指導をし、一斉下校の下校時においては正門付近の混雑を緩和させる指導又登校時と同じく小・中学生等の歩行者との事故を防ぐことを目的としている。</p> <p>3 活動内容 正門前の信号を守らせることを徹底させることと左側路側帯一列走行を義務付けさせている。本校では保護者の送迎は学校付近の交通渋滞を防ぐ意図で学校敷地内での生徒乗り入れをお願いしている関係で学校敷地内に入る車両に生徒との接触等を防ぐ為に最徐行を呼びかけている。</p> <p>4 効果 登校時は特に大きな問題は発生していないが、下校時には正門付近の混雑が予想されるために、生徒が自主的に時間差下校を行うようになった。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	自転車整備点検	分類	その他の取組												
取組の特徴	日田市自転車組合の方々による整備不良等の確認														
学校名	藤蔭高等学校														
取組の概要															
<p>1. 日時 7月10日(水) 10:00～11:00</p> <p>2. 目的 正しく整備された自転車を使用し、交通事故を未然に防ぐ。</p> <p>3. 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日田市自転車組合の方々が発行した点検カードを確認し、合格、または不備の箇所にチェックを入れる。 ○ 生徒指導部が発行した点検カードを確認し、不備があった自転車への整備を促す。 ○ 1学期末までに改善をさせ、再度点検を行う。 <p>4. 点検項目</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">1. フレーム、前ホーク</td> <td style="width: 33%;">2. ハンドル</td> <td style="width: 33%;">3. ブレーキ(前後)</td> </tr> <tr> <td>4. ベル、ブザー</td> <td>5. リフレクタ</td> <td>6. ペダル</td> </tr> <tr> <td>7. タイヤ</td> <td>8. チェーン</td> <td>9. ディレーラ</td> </tr> <tr> <td>10. ライト</td> <td>11. 鍵</td> <td>12. 防犯登録</td> </tr> </table> <p>5. 実施後の状況</p> <p>89台点検を行い、33台の整備不良があったが、すべての自転車の再点検は完了することができた。事故を未然に防ぐためにも、乗り方やマナーだけでなく使用する自転車の安全性を高めるためにも継続した指導をしていきたい。</p>				1. フレーム、前ホーク	2. ハンドル	3. ブレーキ(前後)	4. ベル、ブザー	5. リフレクタ	6. ペダル	7. タイヤ	8. チェーン	9. ディレーラ	10. ライト	11. 鍵	12. 防犯登録
1. フレーム、前ホーク	2. ハンドル	3. ブレーキ(前後)													
4. ベル、ブザー	5. リフレクタ	6. ペダル													
7. タイヤ	8. チェーン	9. ディレーラ													
10. ライト	11. 鍵	12. 防犯登録													

交通安全教育報告書

取組名	登下校指導	分類	その他の取組
取組の特徴	主に交通量が多い通学路4ヶ所であいさつ運動を兼ねた交通安全指導		
学校名	藤蔭高等学校		
取組の概要			
<p>1. 期間</p> <p>4月10日～12日（3日間）、5月7日～9日（3日間） 6月10日～14日（5日間）、9月3日～5日（3日間） 10月1日～3日（3日間）、11月11日～15日（5日間）</p> <p>登校時 7：40～8：00（20分間） 下校時 15：40～16：10（30分間）</p> <p>2. 目的</p> <p>朝、夕に生徒への声掛けをし、交通マナー、ルールの徹底をすることで、交通事故を未然に防ぐ。また、登下校の様子を観察。</p> <p>3. 実施後の状況</p> <p>毎月実施しており、信号無視、自転車のルール（二人乗り、携帯電話、イヤホン等）を守らない生徒は皆無である。毎朝見守っていただいている交通指導員の方からも本校生徒のマナーの良さを継続してほしいという言葉をいただいた。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	自転車通学生に対する交通安全指導	分類	その他の取組
取組の特徴	本校高等部の初めての自転車通学生に対する交通安全指導		
学校名	大分県立由布支援学校		
取組の概要			
<p>【自転車通学に関する内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自転車通学に関する規則の決定（6項目） 2 自転車通学についてのお願（保護者記入） 3 自転車通学誓約書（保護者記入） 4 通学指導計画及び報告書の作成 <ul style="list-style-type: none"> ○ 許可の前に実際に担任が通学指導を行う（登下校時に一緒に自転車で走行し、危険箇所や安全な通学路の確認を行う。） ○ その結果を保護者に報告し、最終確認をとる。その後、結果をまとめ生徒指導主任に提出。 ○ 定期的に自転車の点検を行うとともに、規則の遵守・通学状況を確認する。 			

交通安全教育報告書

取組名	安全な歩道や横断歩道の利用について	分類	その他の取組
取組の特徴	全面介助が必要な車椅子利用生徒の公道での移動について		
学校名	大分県立別府支援学校鶴見校		
取組の概要			
<p>1. 日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4月26日（金） 鶴見校より南立石公園への歓迎遠足 ○ 10月30日（水） 別府みらい信用金庫荘園支店へふれあい作品展見学 <p>2. ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全面介助を必要とする車椅子利用生徒が、交通量のある県道の歩道や横断歩道を利用して、安全に目的地まで移動する。 ○ 障害者用横断歩道信号の利用を体験する。 <p>3. 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高等部生徒6名が全て車椅子利用の重度重複障がいを持つ生徒である。生徒達が校外の目的地まで歩道や横断歩道を利用して、安全に移動することを経験する。 <p>4. 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重度重複障がいを持つ生徒にとって、校外に出る機会が困難な状況にあるが、その中で交通安全指導の貴重な体験を実施することができた。 			

交通安全教育報告書

取組名	ホームルームでの全体指導と個別指導	分類	その他の取組
取組の特徴	生徒の実態・個に応じた指導		
学校名	大分県立別府支援学校石垣原校		

取組の概要

- ① 交通安全について、年度当初、ホームルームで全体指導を行い、その後個別に担当（担任）が生徒の実態・個に応じた個別指導を行う。
- ② 長期休業前にも、終業式後のホームルームで同様の指導を行う。
- ③ それぞれ、「学校生活を送る上での注意事項」・「夏休み中の生活について」・「冬休み中の生活について」・「春休み中の生活について」という 1 ペーパーをガイドラインとし、同文書は、休み中生徒に課す「日誌」の末尾にも掲載し、周知徹底を図る。

例（「夏休み中の生活について」より）

^{か き}夏季休業中^{きゅうぎょうちゅう}休業中は^{なつまつ}夏祭りやお盆^{ぼん}などもあり、^{がいしゅつ}外出する^{きかい}機会が増えます。

^{がいしゅつ}外出する^{とき}時は^{こうつう}交通ルール（^{ほこう}歩行の際の^{さい}右側通行、^{みぎがわつうこう}横断歩道の^{りよう}利用、^{こうつうしんごう}交通信号を^{まも}守るなど）をもう一度よく^{いちど}確認して、^{かくにん}事故に^{じこ}遭う^あことのないよう^{じゅうぶん}十分に^き気をつけましょう。

交通安全教育報告書

取組名	登下校指導（スクールバス）及び自力下校指導（JR、路線バス）	分類	その他の取組
取組の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス内での実態把握をする。 ・路線バス停や駅での過ごし方の指導をする。 ・路線バスやJR車内での状況を観察して、課題の把握をする。 ・一人一人の課題への改善に役立てる。 		
学校名	大分県立竹田支援学校		
取組の概要			
<p>【スクールバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学期始めにスクールバス（登下校）へ乗車し、座席の位置や車内での過ごし方について問題がないか確認をした。 ・児童生徒に「バス内でのマナー」について話をした。様々な場面で、あいさつについて呼びかけをしていることで、徐々に乗降の際、運転手、介助員、友だちにあいさつが定着しつつある。 <p>【JR、路線バス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初は担任及び学部の教師が同行して安全指導をした。 ・JRや路線バスと一緒に乗車し、利用の仕方や車内でのマナー（荷物の置き場所、駅構内やホームでの飲食など）を指導した。 ・利用回数を重ねながら、徐々に見守り指導に切り替え児童生徒の様子を観察した。 → 5月下旬には、自力下校につなげることができた。 ・天候悪化による早めの対応 → 関係機関を通して早期からの情報収集及び保護者への連絡 ・2学期に再度、JRやバスに乗車して現状を把握し、一人一人の課題改善につなげた。 			

平成25年度 大分県高等学校交通安全教育推進連絡会議

- 委員長 渚 洋行 大分地区高等学校指導連合会長（大分県立鶴崎工業高等学校長）
- 副委員長 蓑田 智通 大分県教育庁体育保健課長
- 副委員長 松本 博文 大分県立大分舞鶴高等学校教諭（大分地域代表）
- 委員 吉村 昌史 大分県生活環境部生活環境企画課交通安全推進班指導主事兼主幹
- 田口 哲浩 大分県警察本部交通企画課安全・分析補佐
- 井堀 賢治 公益財団法人大分県交通安全協会企画指導室長
- 江藤 義 大分県教育庁生徒指導推進室長
- 池田 慎一 東九州龍谷高等学校教諭（中津地域代表）
- 島田 信夫 大分県立安心院高等学校教諭（宇佐・高田地域代表）
- 丸山征一郎 大分県立日出暘谷・日出総合高等学校教諭（国東・杵築・日出地域代表）
- 鶴原 誠二 大分県立別府羽室台高等学校教諭（別府地域代表）
- 越智 二郎 大分県立津久見高等学校海洋科学学校教諭（臼杵・津久見地域代表）
- 立木穰太郎 日本文理大学附属高等学校教諭（佐伯地域代表）
- 竹永 勝 稲葉学園竹田南高等学校教諭（豊肥地域代表）
- 後藤 恒治 大分県立玖珠農業高等学校教諭（玖珠・日田地域代表）
- 事務局 石井知由美 大分県教育庁体育保健課学校保健・安全班指導主事兼主幹（総括）

平成26年3月

平成25年度

交通安全教育事例集

編集 大分県高等学校交通安全教育推進連絡会議
発行 大分県教育庁体育保健課
(高等学校交通安全教育推進連絡会議事務局)
〒870-8503 大分市府内町3-10-1
電話 097-506-5636
FAX 097-506-1866